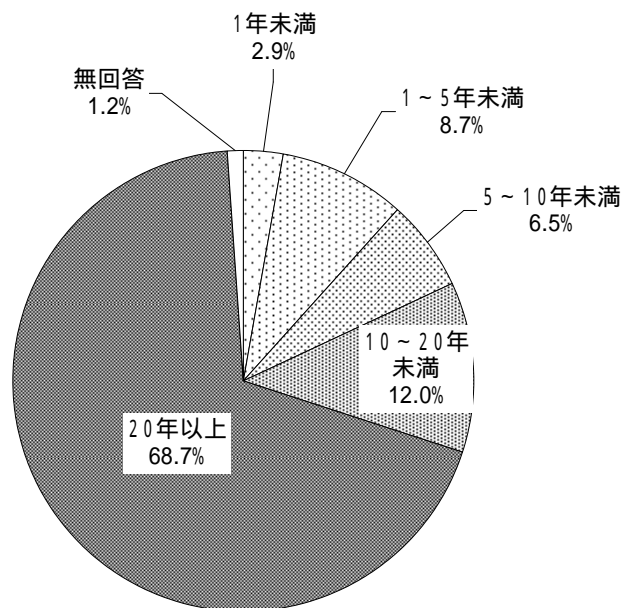


# 1 定 住 性

## (1) 居 住 年 数

20年以上の《長期居住者》が全体の70%弱を占める

問1 あなたは、足立区に住んで何年になりますか。( は1つ)



(n=1,475)

区民の居住年数は、「20年以上」の《長期居住者》が68.7%と全体の70%弱を占めている。次いで5年から20年未満の《中期居住者》が18.5%（「5～10年未満」6.5%、「10～20年未満」12.0%）、5年未満の《短期居住者》が11.6%（「1年未満」2.9%、「1～5年未満」8.7%）となっている。

地域ブロック別にみると、図1 - 1 - 1のとおりである。

特に、第9、第13ブロックでは《長期居住者》が80%以上を示している。一方、《短期居住者》は第6ブロックで最も高い(18.2%)。

図 1 - 1 - 1 居住年数 (地域ブロック別)



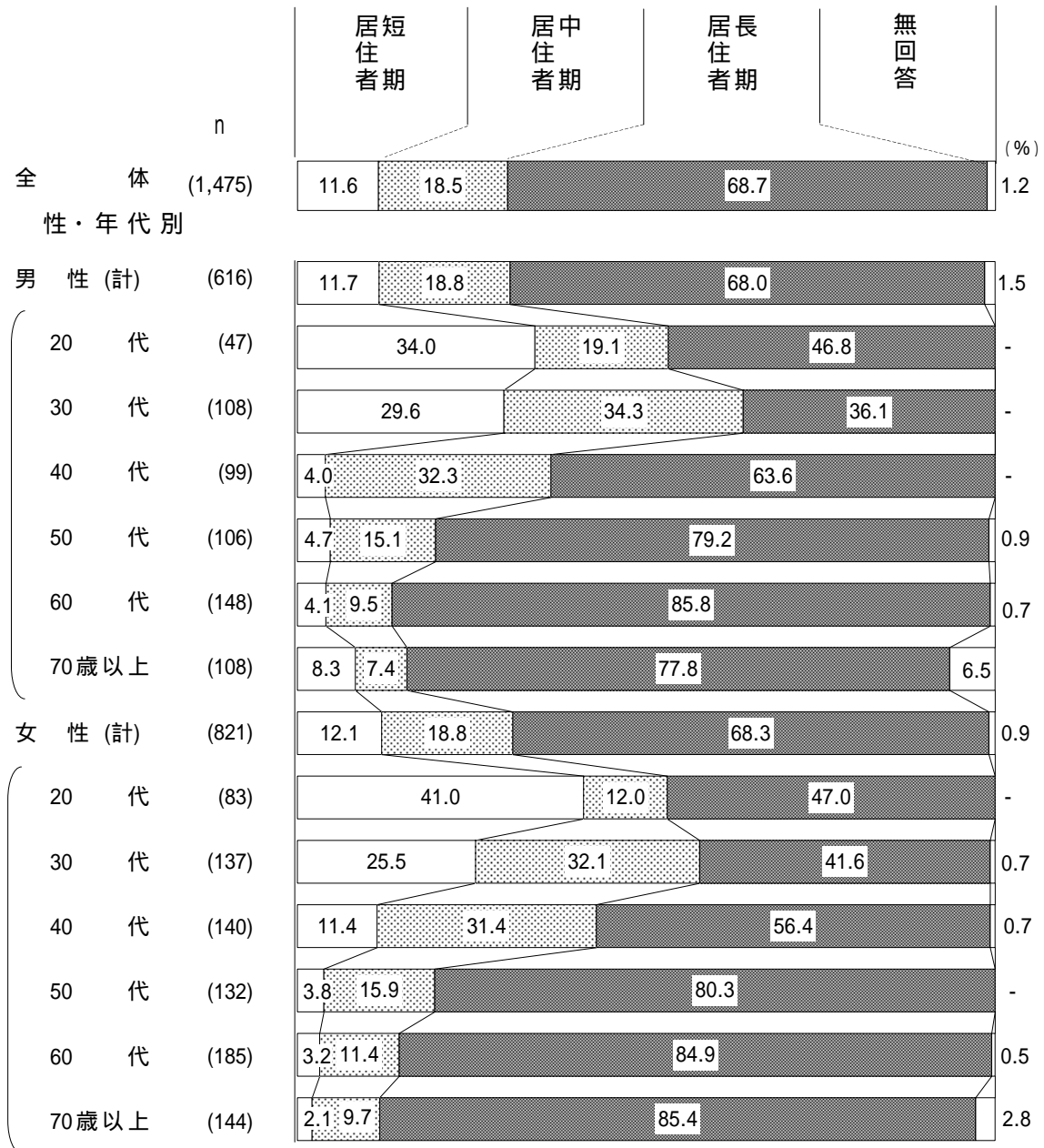
ブロック区分



性・年代別にみると、図1 - 1 - 2のとおりである。

〔長期居住者〕で70％を超えているのは、男性、女性ともに50代、60代、70歳以上である。  
〔短期居住者〕では、男女ともに20代がそれぞれ34.0％、41.0％と最も高くなっており、次いで30代が続いている。

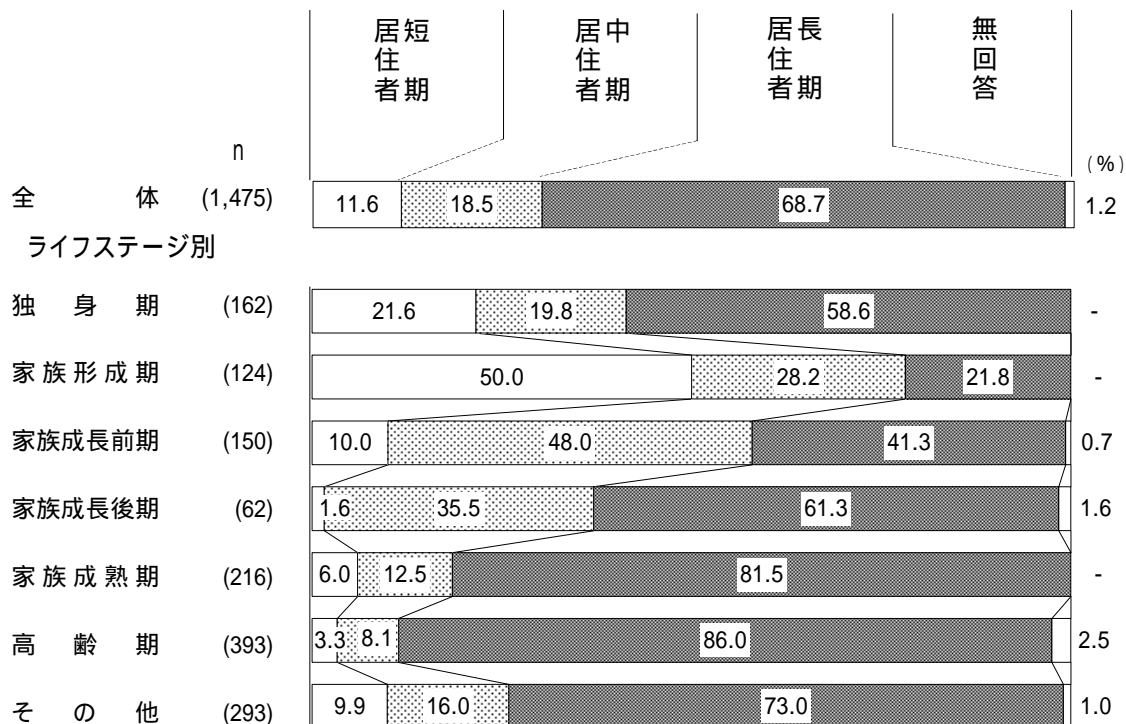
図 1 - 1 - 2 居住年数（性・年代別）



ライフステージ別にみると、図1-1-3のとおりである。

《長期居住者》では家族成熟期(81.5%)と高齢期(86.0%)が80%を超えており、《短期居住者》では家族形成期で50.0%を示している。

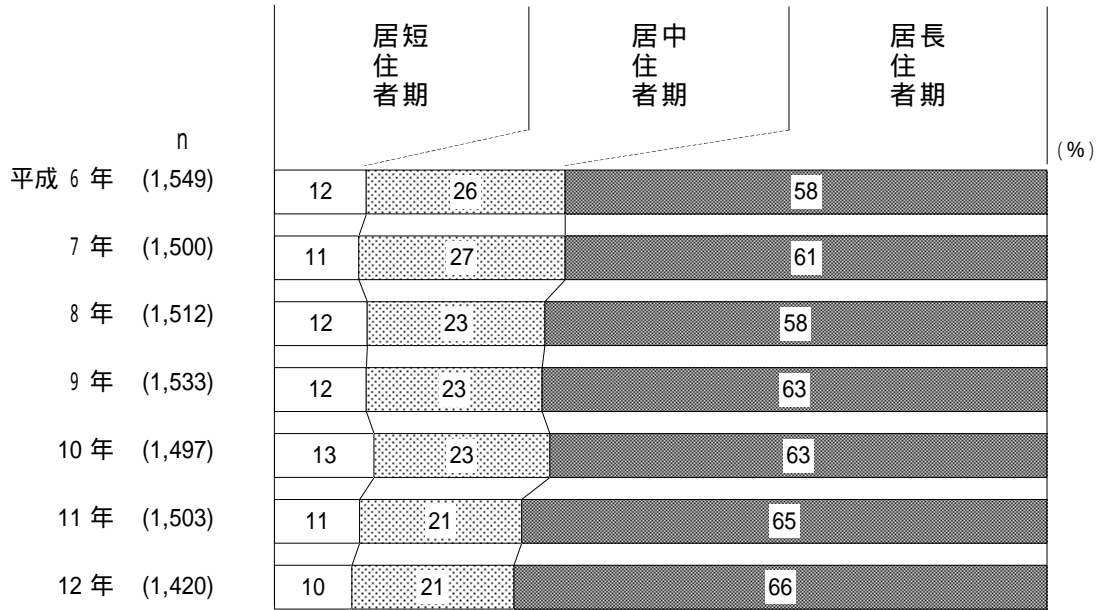
図 1 - 1 - 3 居住年数 (ライフステージ別)



## 参考 居住年数の推移

(平成12年まで 訪問面接法)

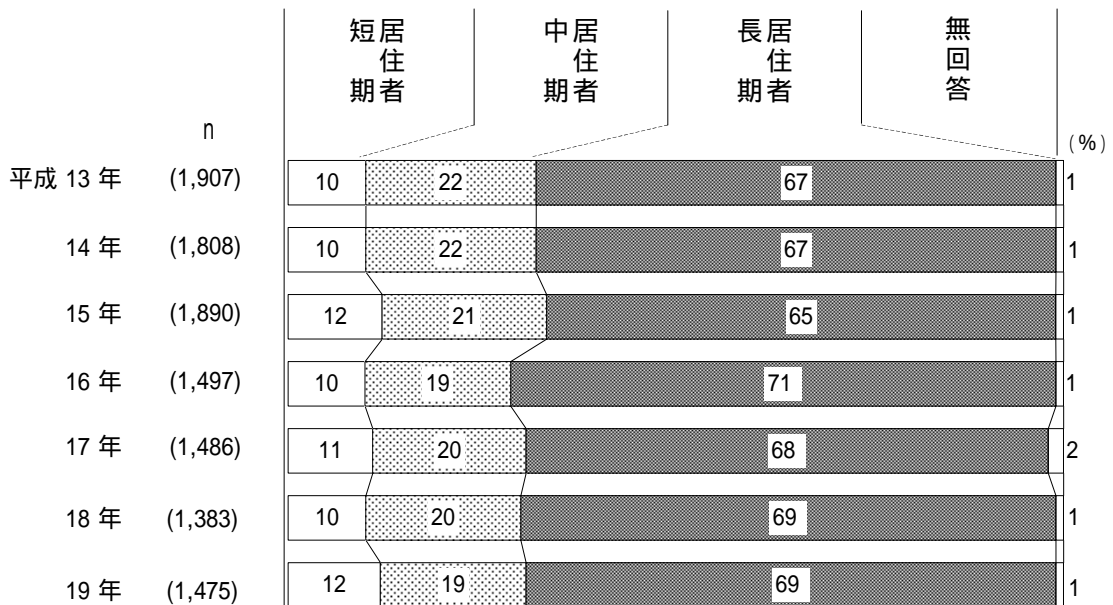
問 あなたは、足立区に住んで何年になりますか。( は1つ)



(平成13年以降 郵送配布郵送回収法)

問1 あなたは、足立区に住んで何年になりますか。次の中から 1 つだけ選んでください。

( は1つ)



(注) 平成12年までと平成13年以降では、調査方法(平成12年までは訪問面接法、13年以降は郵送配布郵送回収法)、質問文、選択肢が異なるため、結果を単純に比較することはできない。

## (2) 地域の暮らしやすい点、暮らしにくい点

暮らしやすい点は「普段の買い物が便利」が最も高い

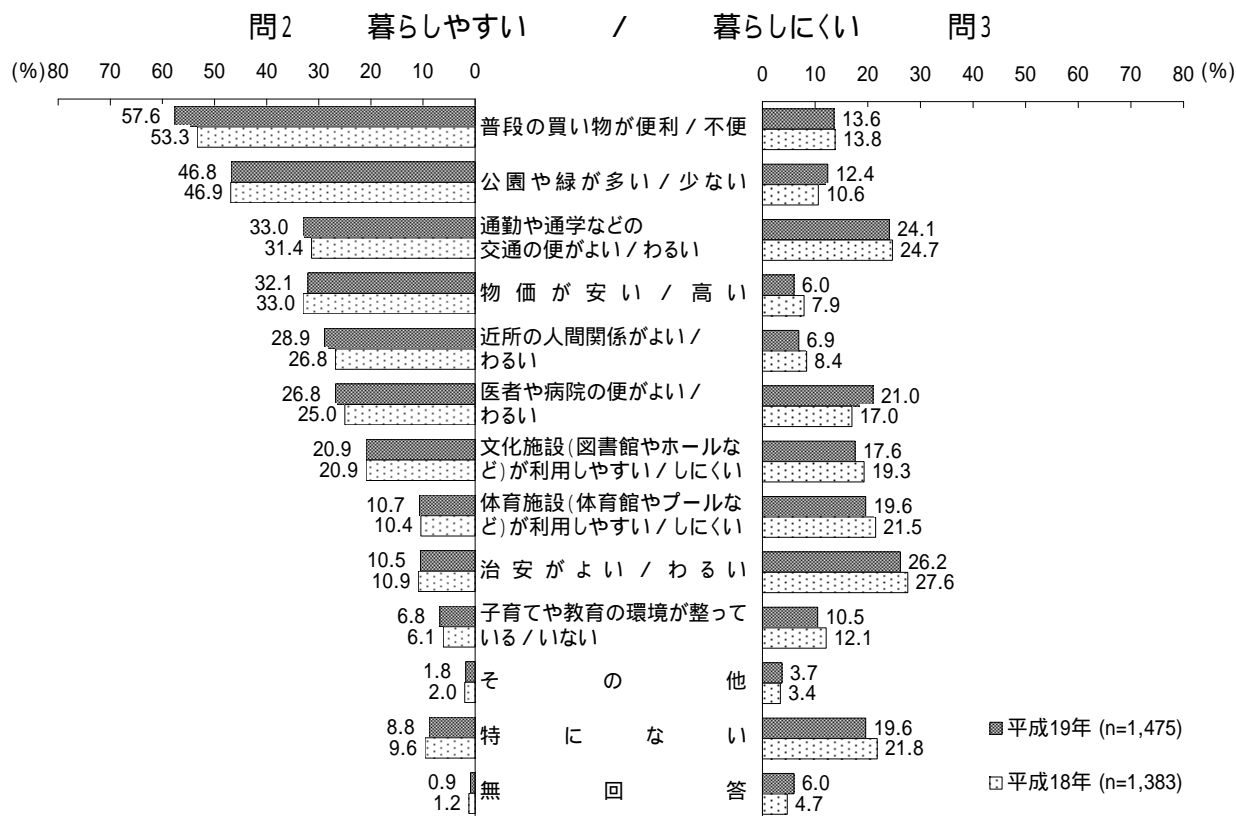
暮らしにくい点は「治安がわるい」と「治安がわるい」

問2 あなたのお住まいの地域について、暮らしやすいと感じる点は何ですか。

(あてはまるものすべてに)

問3 あなたのお住まいの地域について、暮らしにくいと感じる点は何ですか。

(あてはまるものすべてに)



今住んでいる地域の暮らしやすい点については、「普段の買い物が便利」が57.6%と最も高く、次いで「公園や緑が多い」が46.8%、「通勤や通学などの交通の便がよい」が33.0%、「物価が安い」が32.1%の順となっている。特に第1位である「普段の買い物が便利」は、平成18年と比べ、4.3ポイント上昇している。

一方、暮らしにくい点は、「治安がわるい」が26.2%と最も高く、次いで「通勤や通学などの交通の便がわるい」が24.1%、「医者や病院の便がわるい」が21.0%の順となっている。特に第3位である「医者や病院の便がわるい」は、平成18年と比べ4.0ポイント上昇している。

地域ブロック別に暮らしやすい点を見ると、図1-2-1のとおりである。

暮らしやすい点で「普段の買い物が便利」では第4ブロックが76.0%と最も高い。第2位の「公園や緑が多い」は第11ブロックが66.0%で、第3位の「通勤や通学などの交通の便がよい」は第1ブロックが59.9%で最も高い。

暮らしにくい点では、全体で第1位の「治安がわるい」は、第5、8、10、11、12ブロックで30%台を示し、第2位の「通勤や通学などの交通の便がわるい」は第12ブロックが50.7%で、第3位の「医者や病院の便がわるい」は第13ブロックが38.9%で最も高い。

図 1 - 2 - 1 暮らしやすい点・暮らしにくい点 (地域ブロック別)

< 第1ブロック >

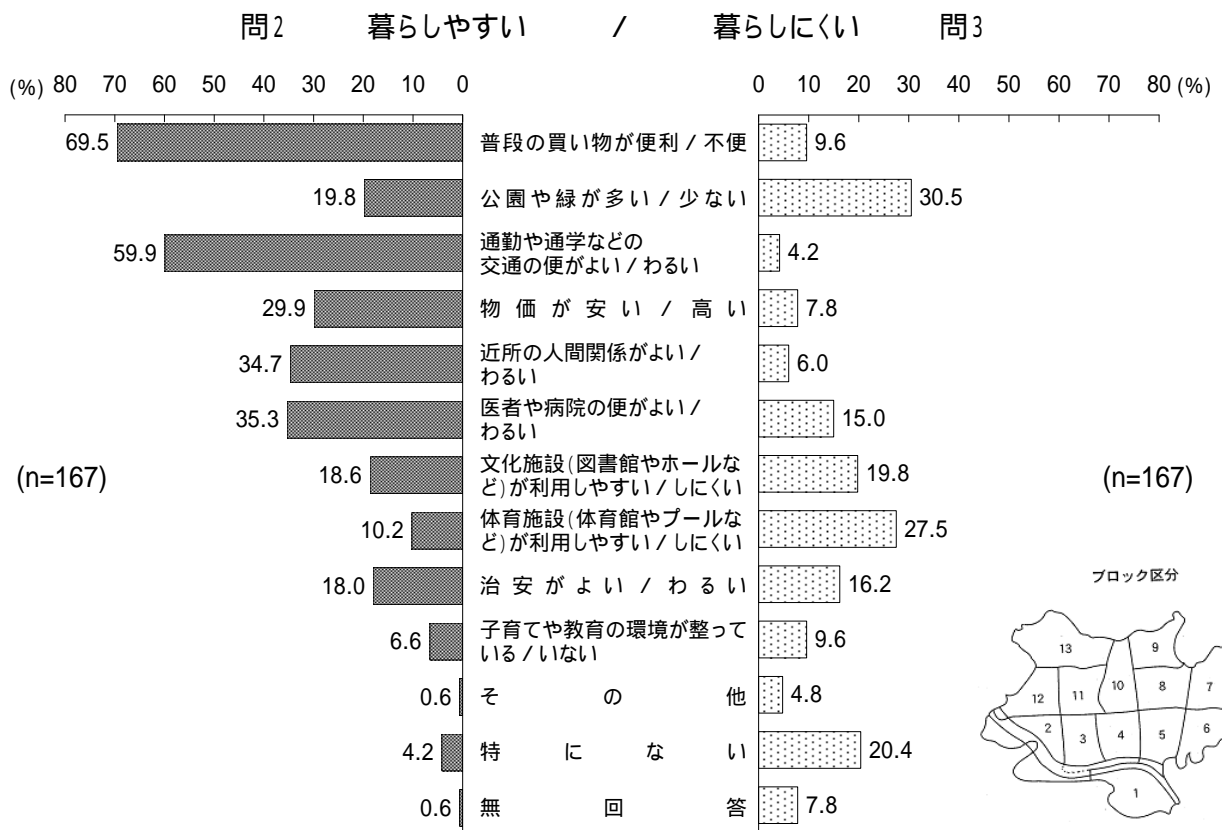


図 1 - 2 - 1 暮らしやすい点・暮らしにくい点（地域ブロック別） - つづき -

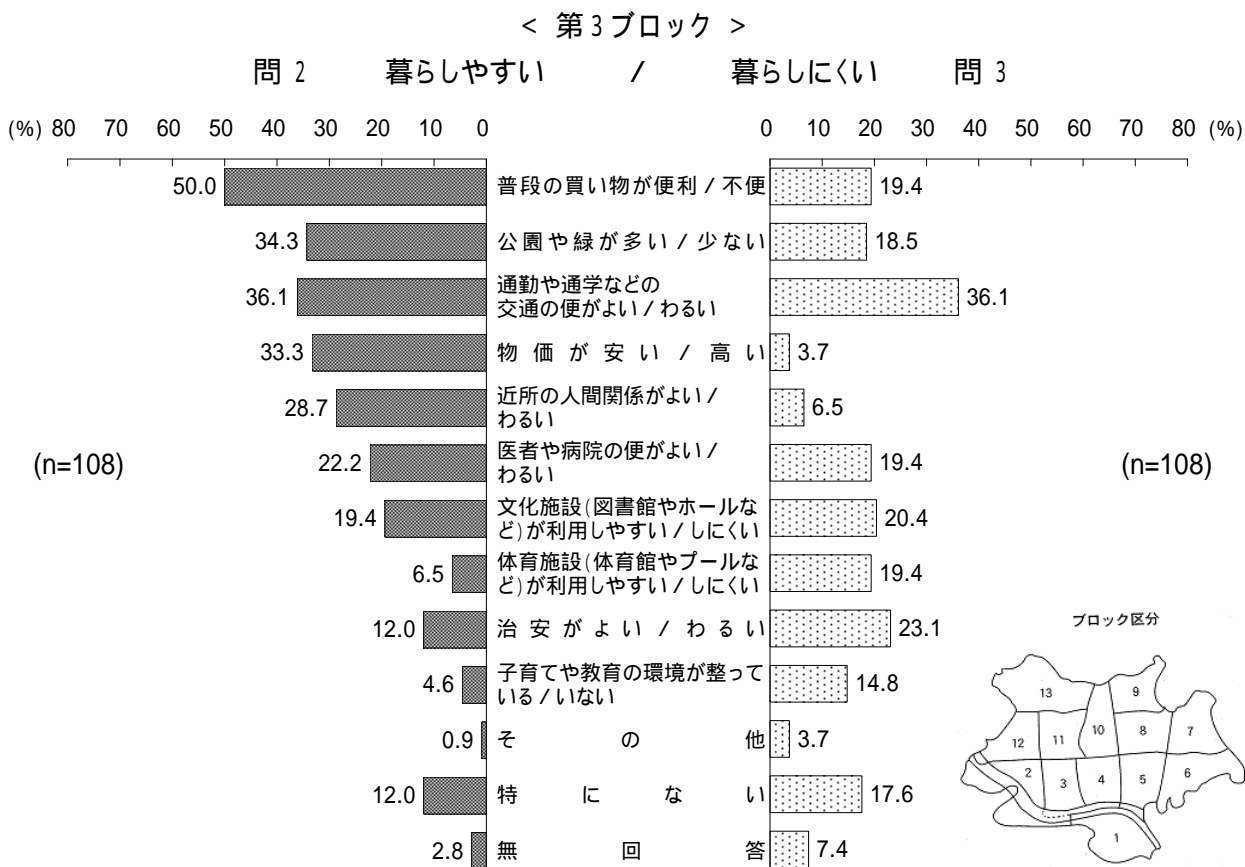
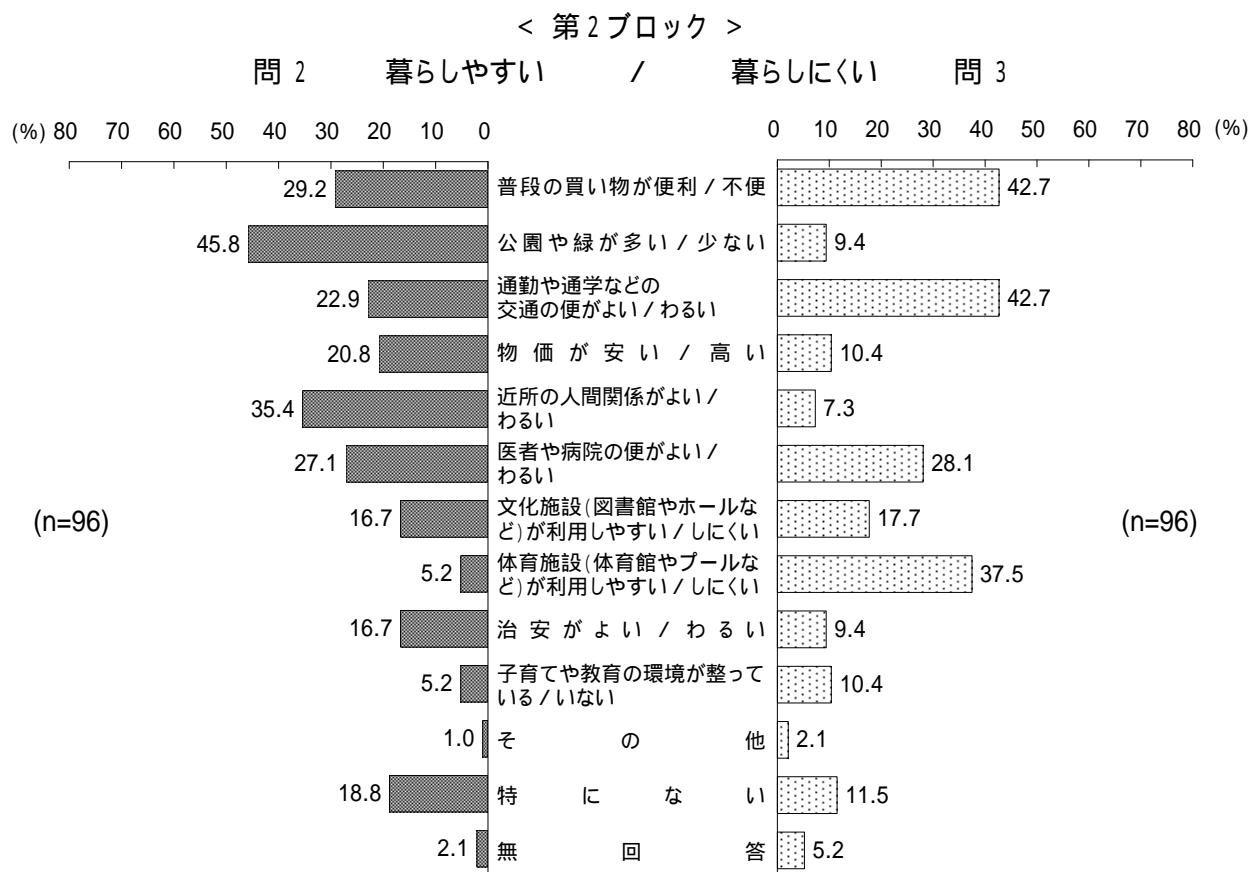
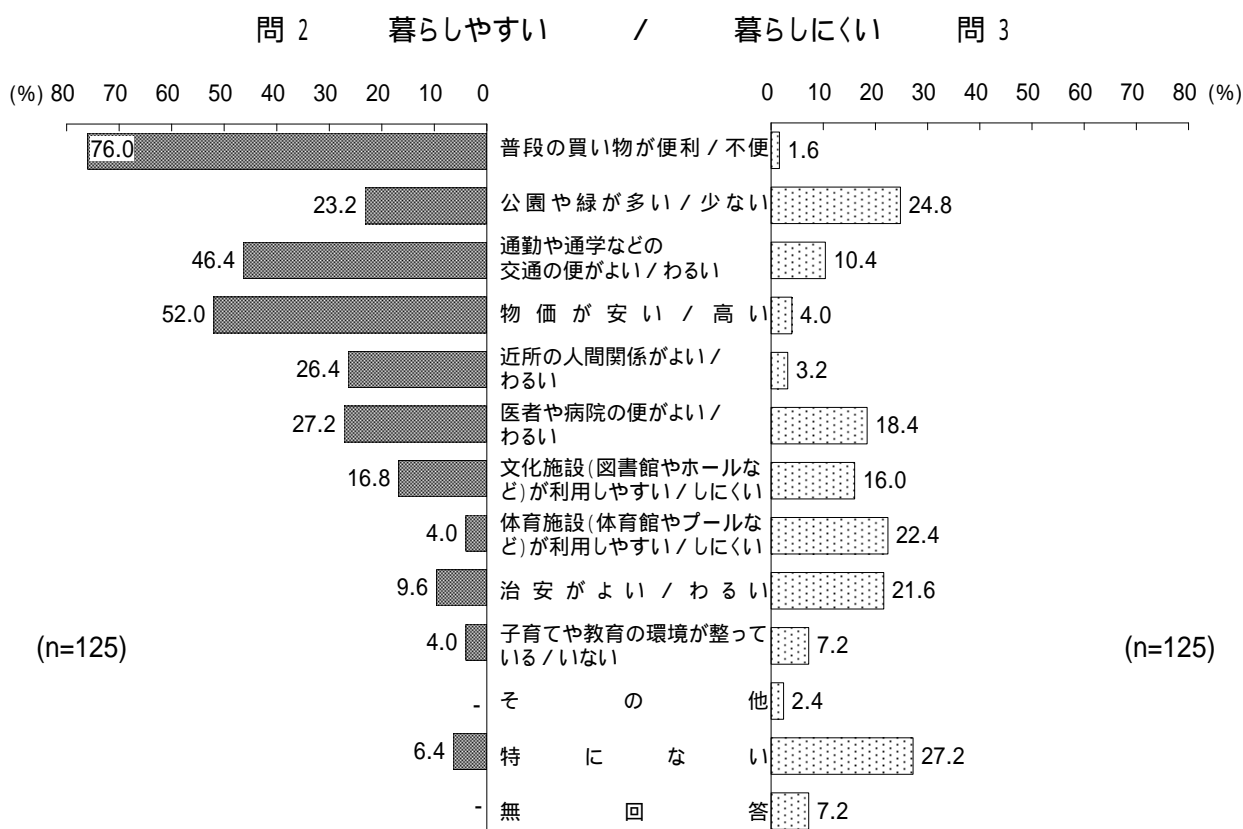




図 1 - 2 - 1 暮らしやすい点・暮らしにくい点 (地域ブロック別) - つづき -

< 第4ブロック >



< 第5ブロック >

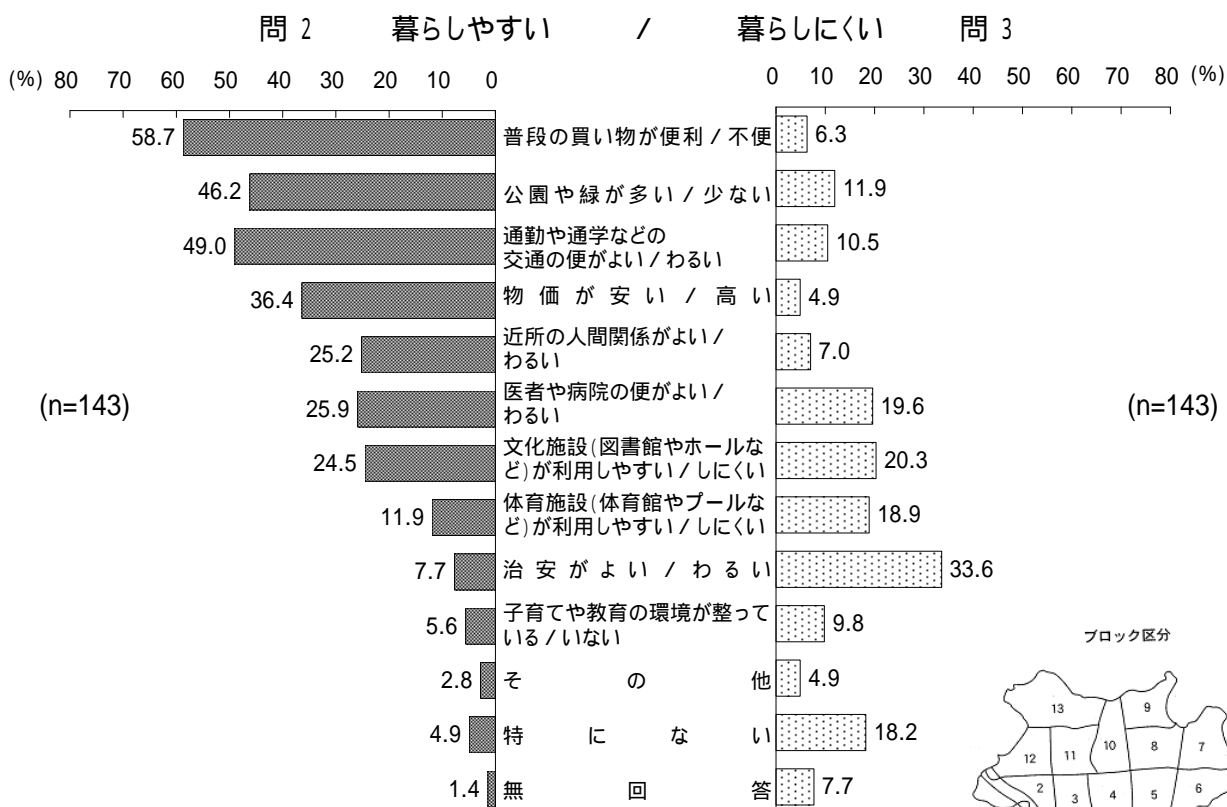


図 1 - 2 - 1 暮らしやすい点・暮らしにくい点 (地域ブロック別) - つづき -

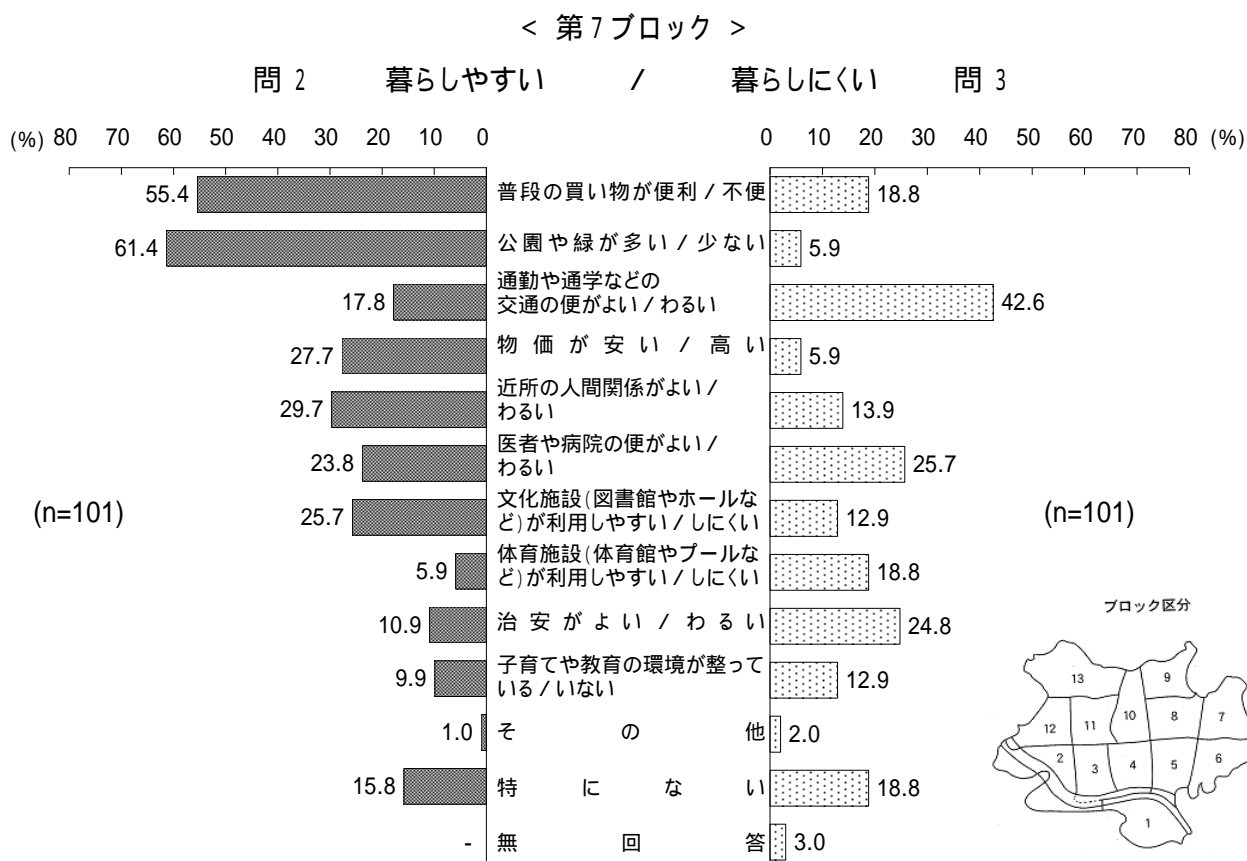
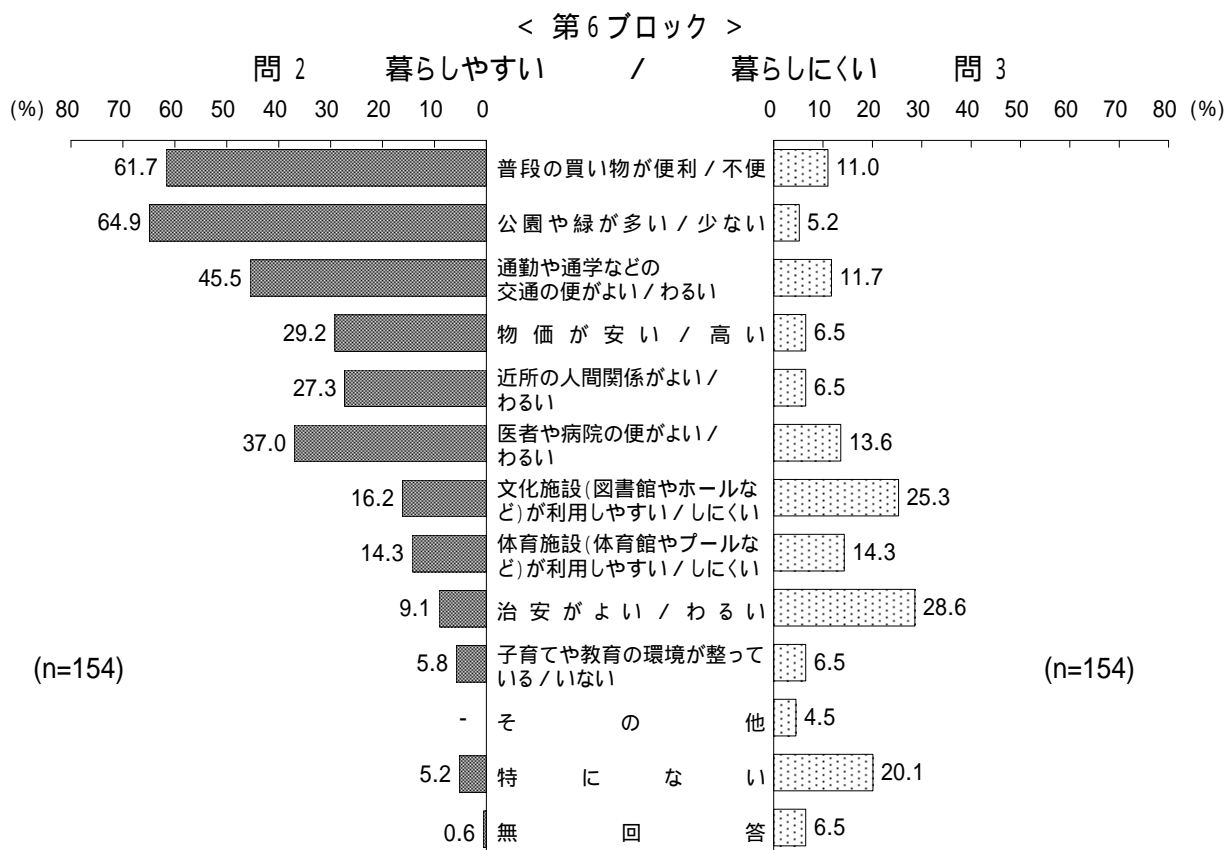


図 1 - 2 - 1 暮らしやすい点・暮らしにくい点 (地域ブロック別) - つづき -

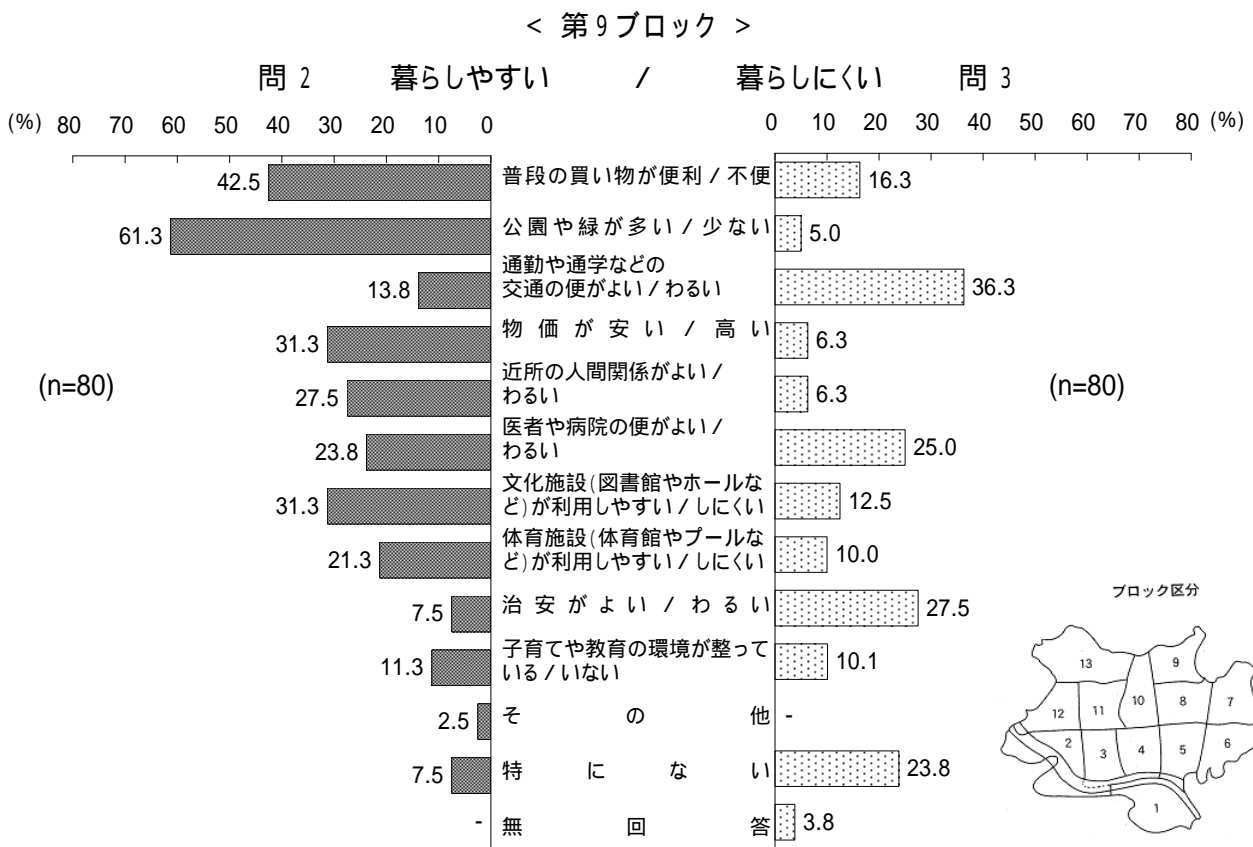
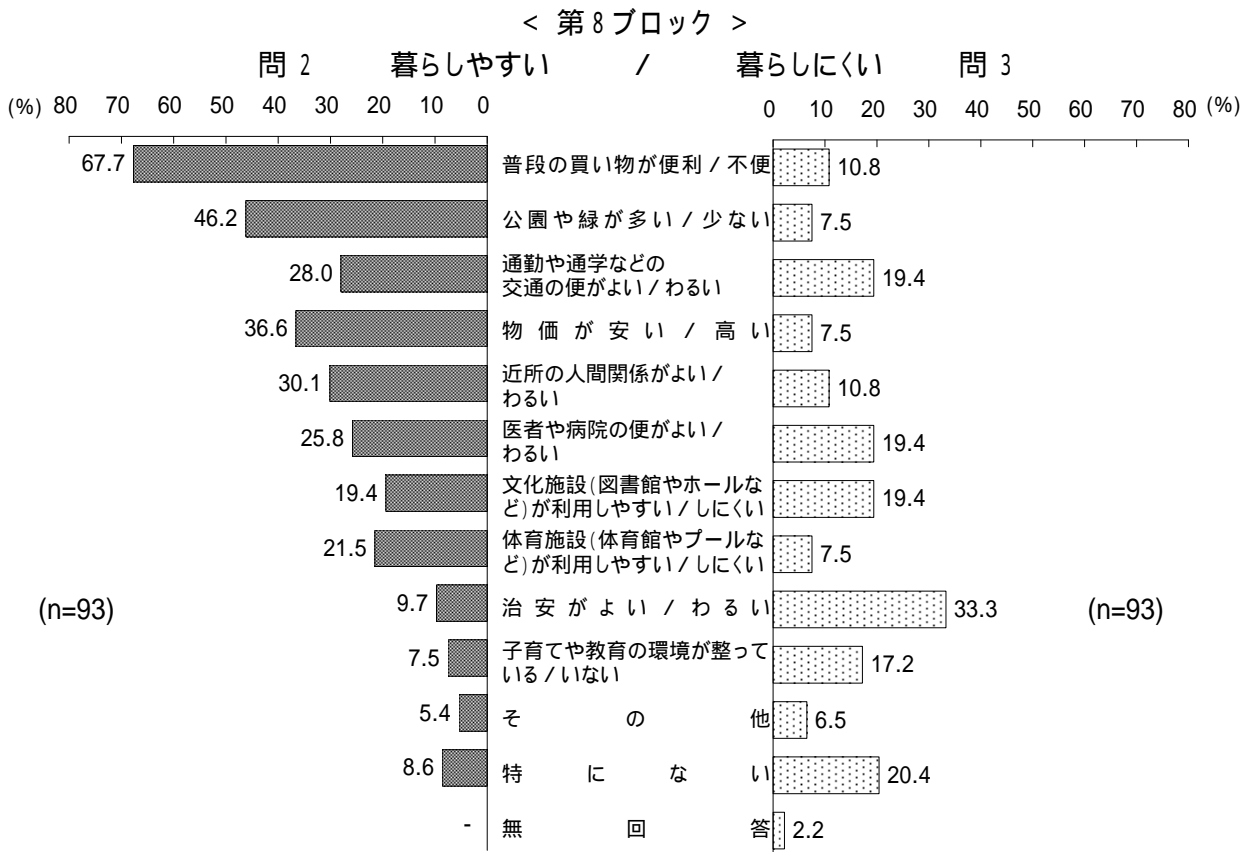


図 1 - 2 - 1 暮らしやすい点・暮らしにくい点 (地域ブロック別) - つづき -

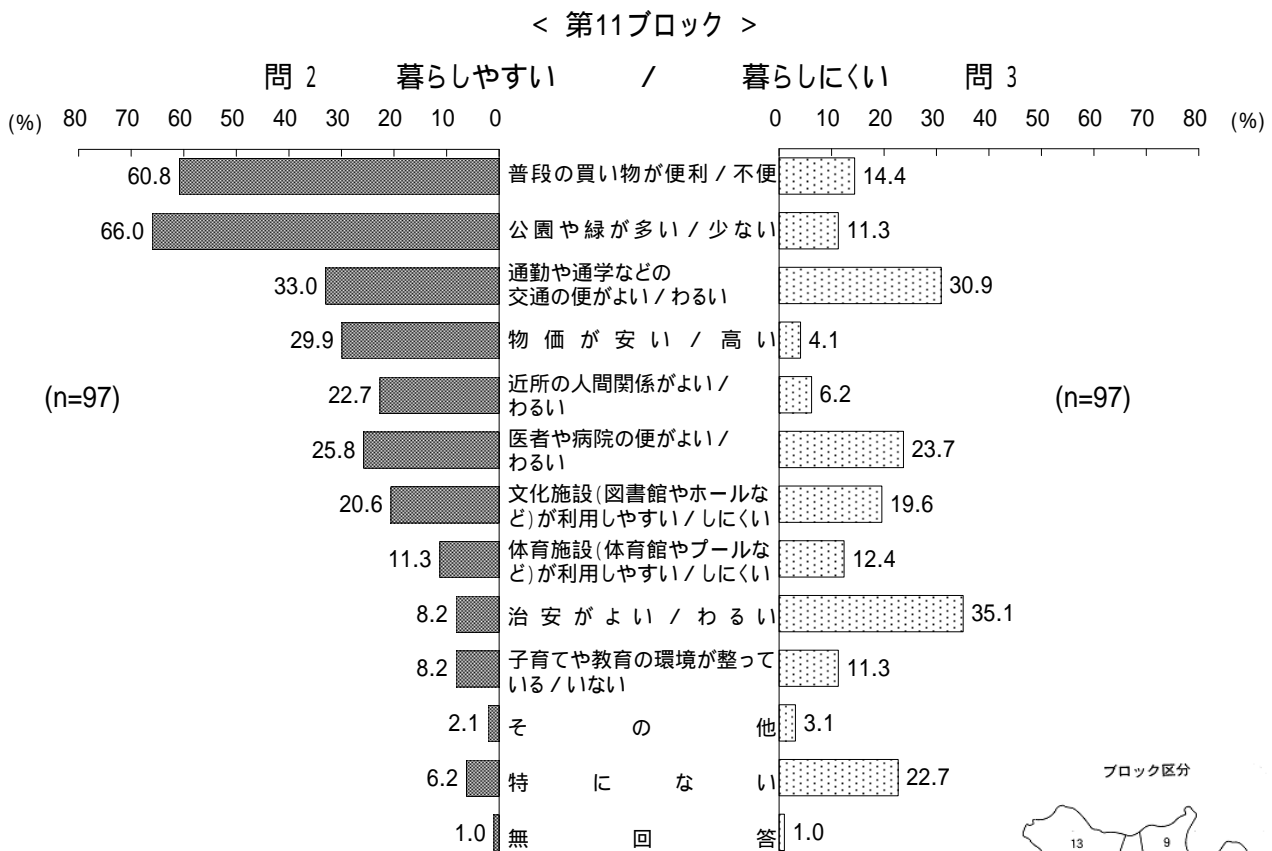
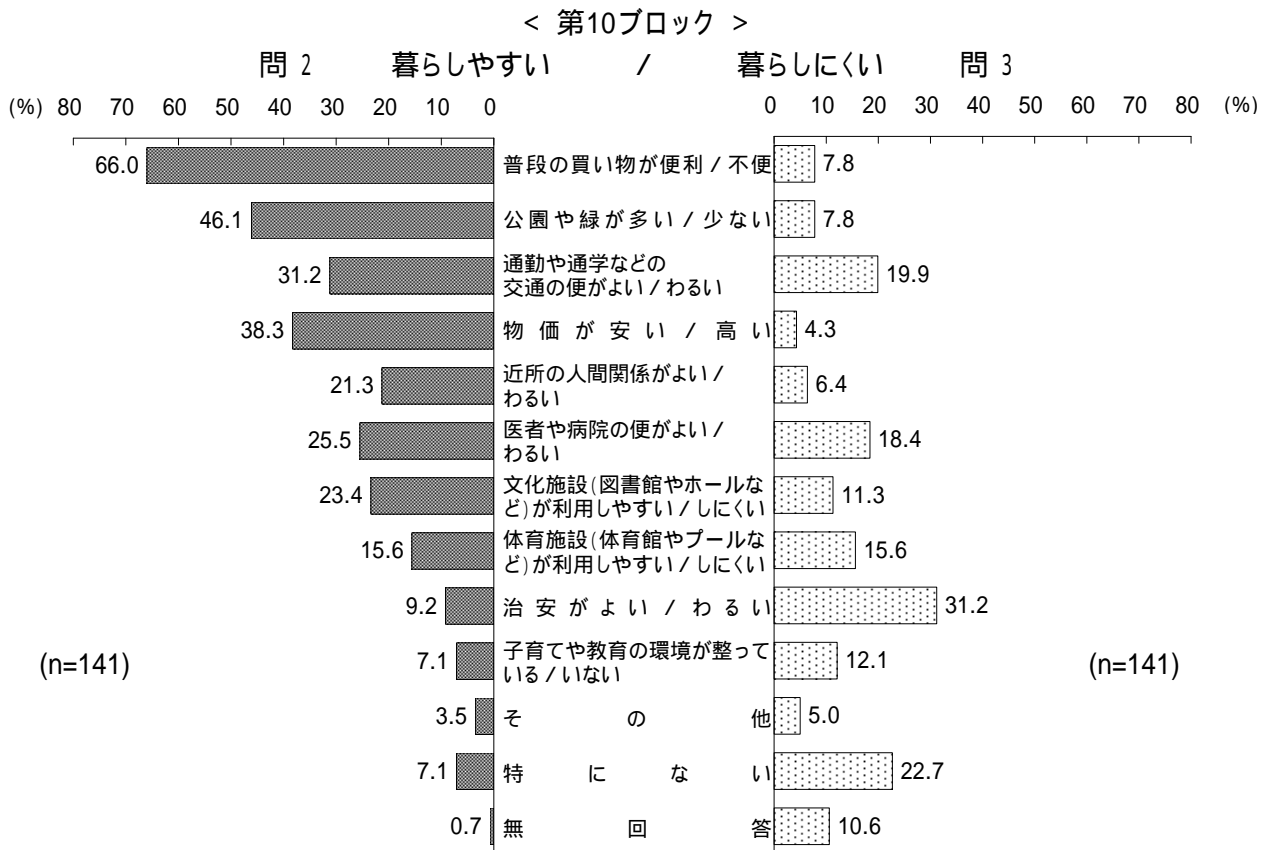
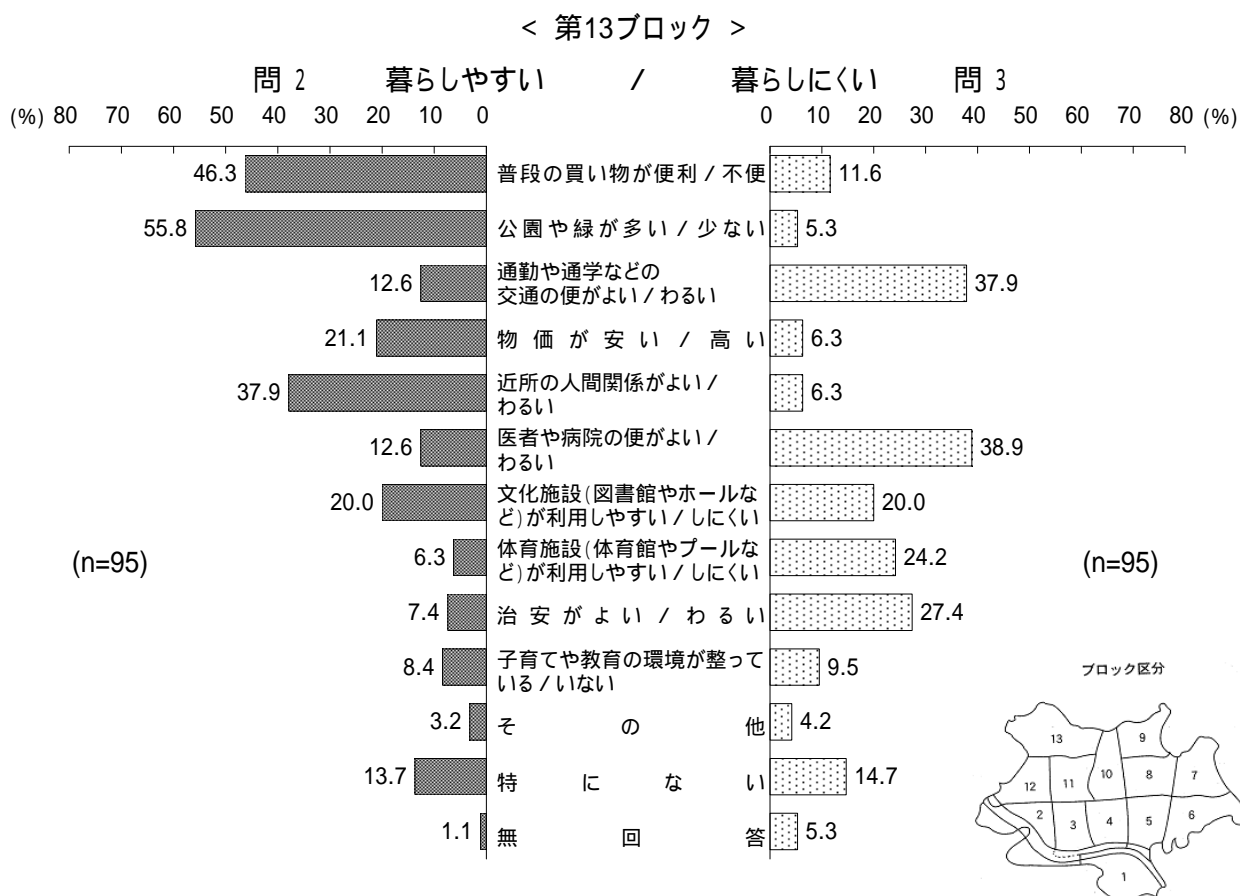
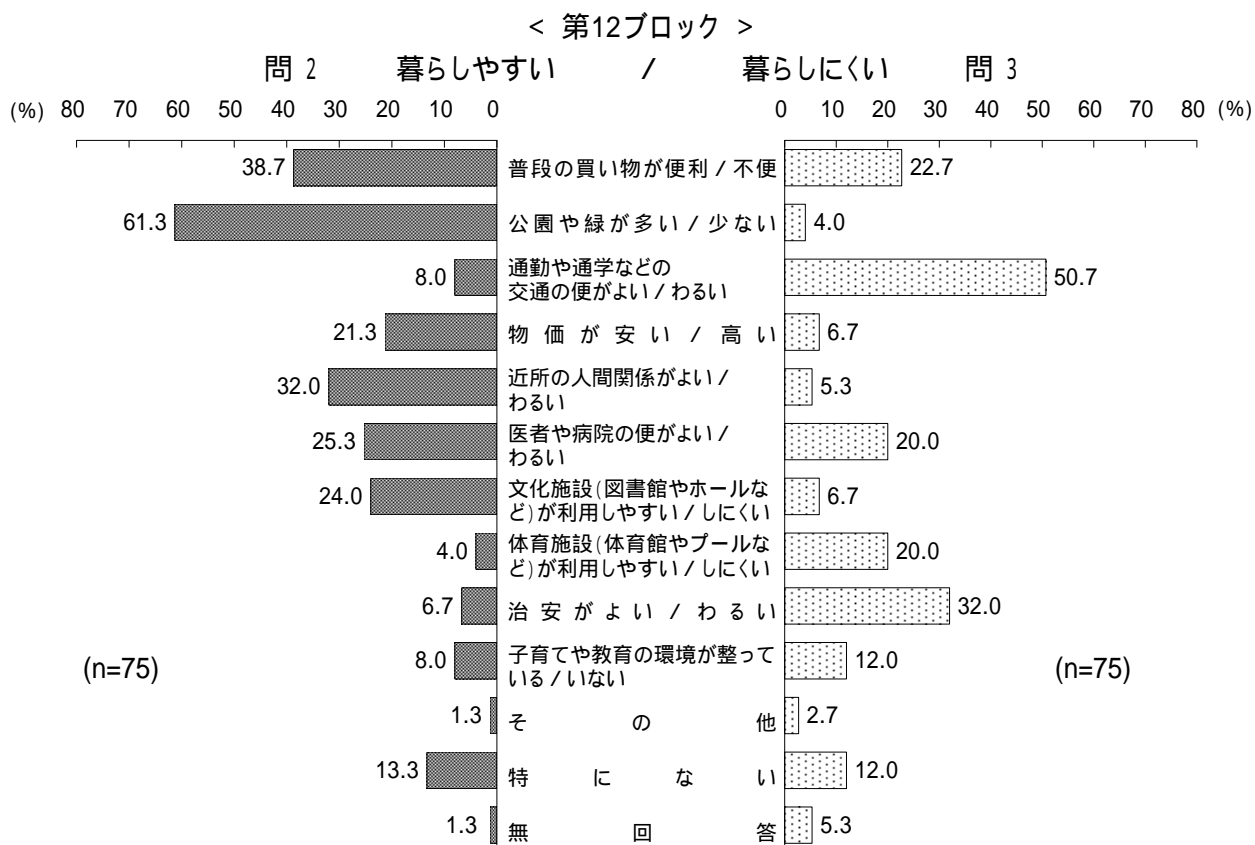


図 1 - 2 - 1 暮らしやすい点・暮らしにくい点 (地域ブロック別) - つづき -



性・年代別に暮らしやすい点を見ると、図1-2-2のとおりである。

第1位の「普段の買い物が便利」は男性70歳以上(66.7%)が最も高い。第2位の「公園や緑が多い」は女性30代(54.0%)が最も高く、男性30代、60代、女性40代においても50%台となっている。第3位の「通勤や通学などの交通の便がよい」は男性20代(46.8%)と女性20代(42.2%)で高くなっている。また、男性20代では、「公園や緑が多い」が「普段の買い物が便利」よりも多くなっている。

暮らしにくい点では、第1位の「治安が悪い」は男性20代(46.8%)が最も高く、男女ともに年代が上がるにつれ低下する傾向があり、70歳以上では「医者や病院の便がわるい」が「治安が悪い」を上回っている。

図 1 - 2 - 2 暮らしやすい点・暮らしにくい点 (性・年代別)

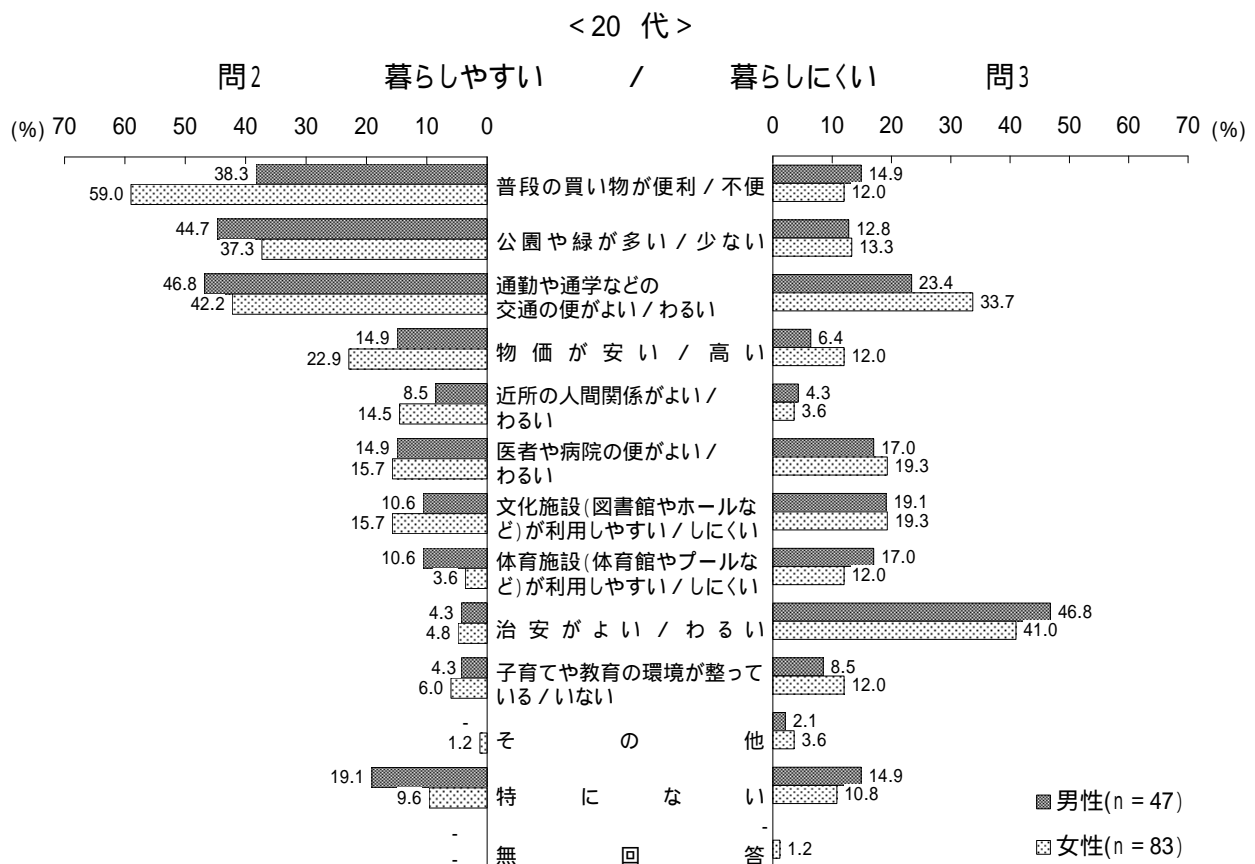


図 1 - 2 - 2 暮らしやすい点・暮らしにくい点 (性・年代別) - つづき -

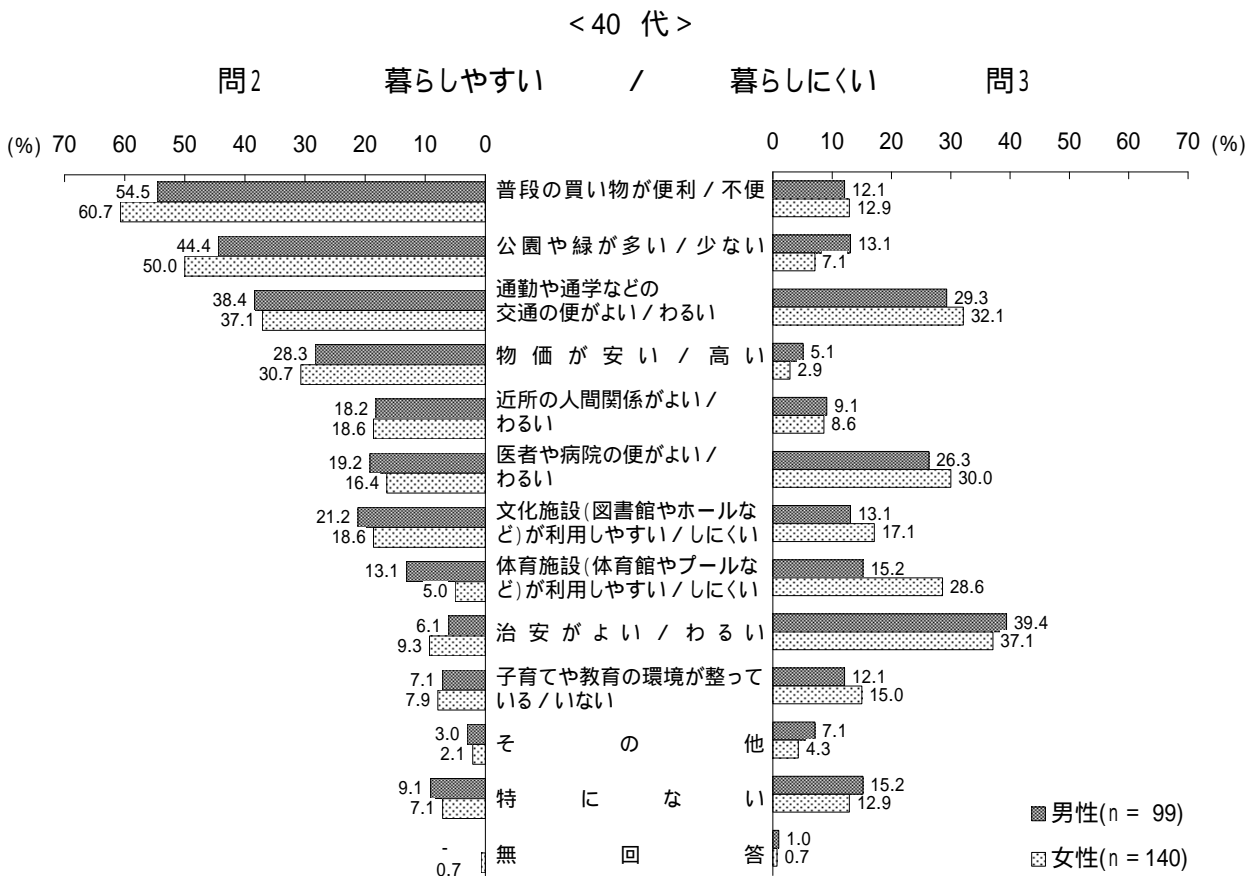
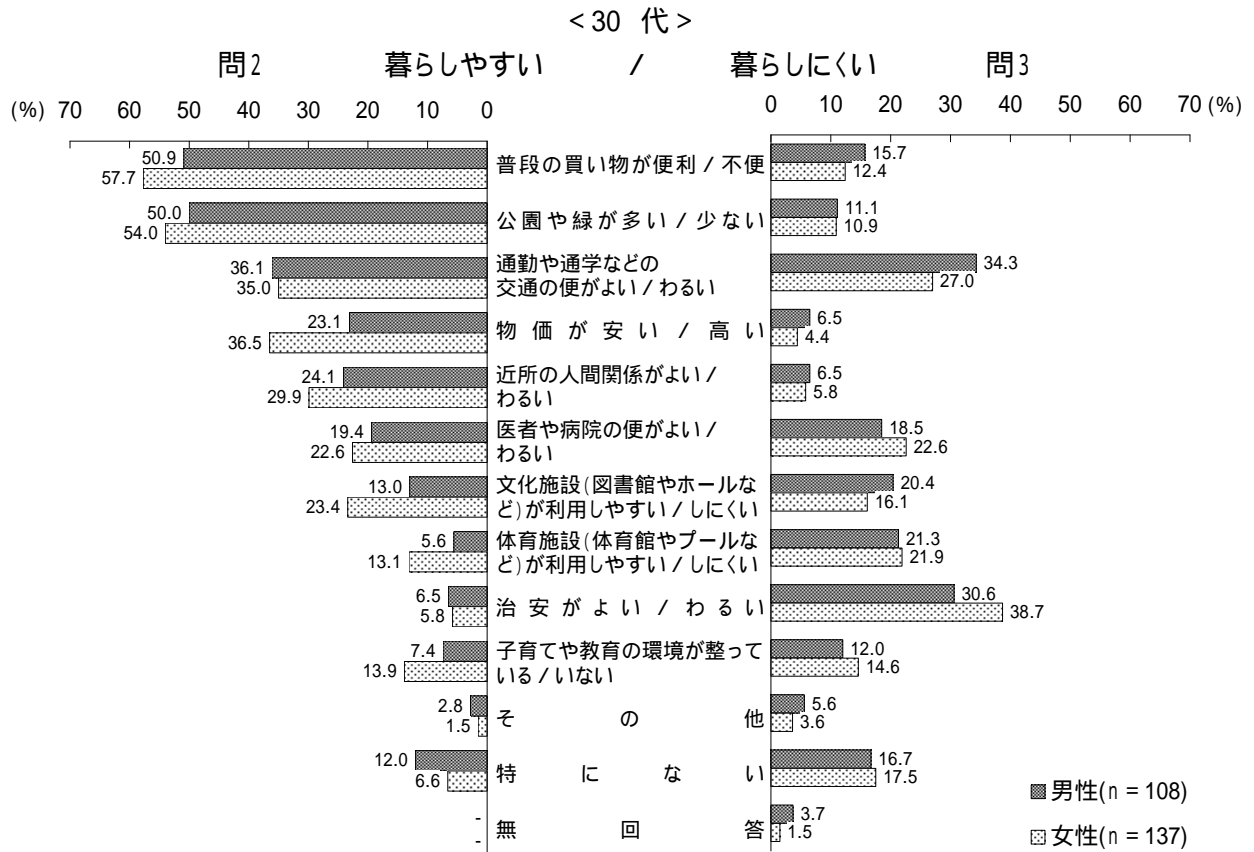


図 1 - 2 - 2 暮らしやすい点・暮らしにくい点 (性・年代別) - つづき -

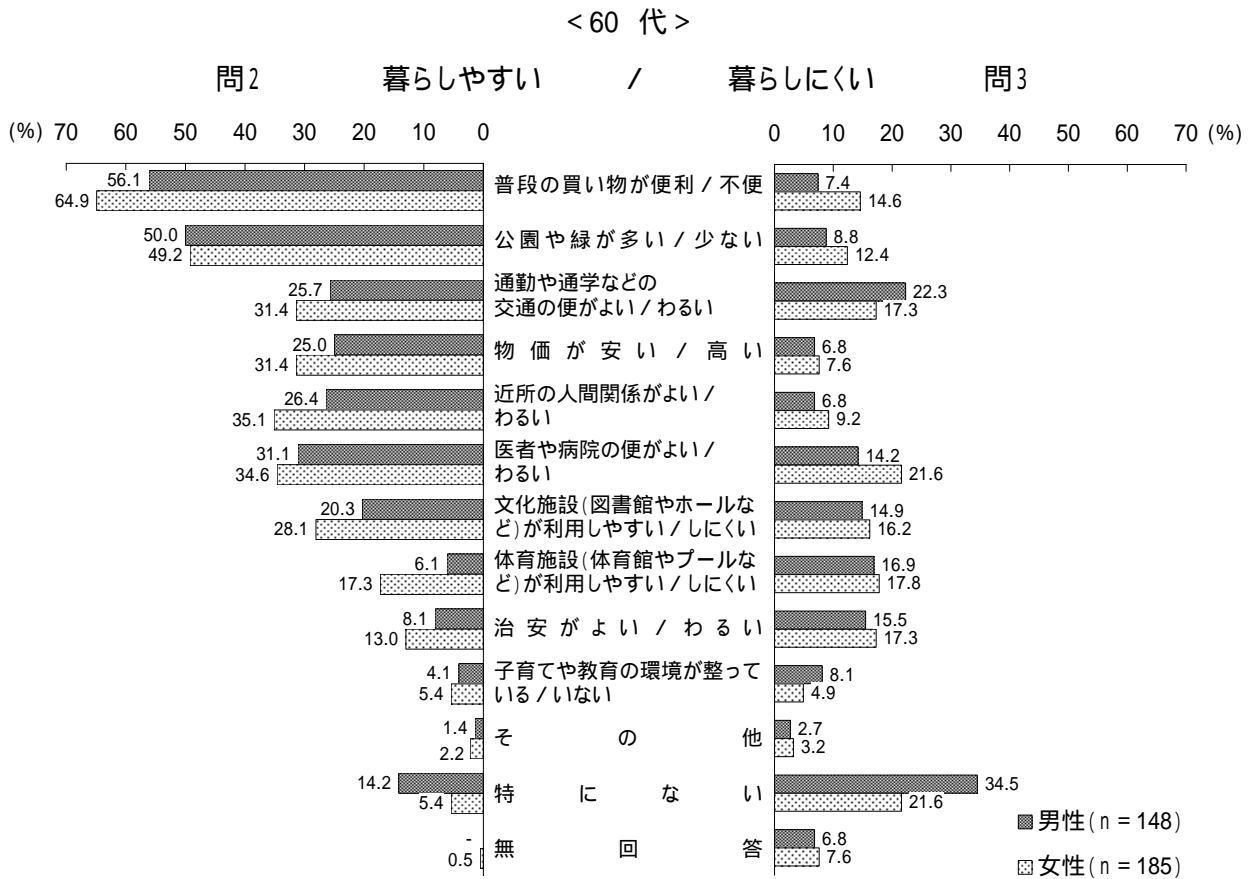
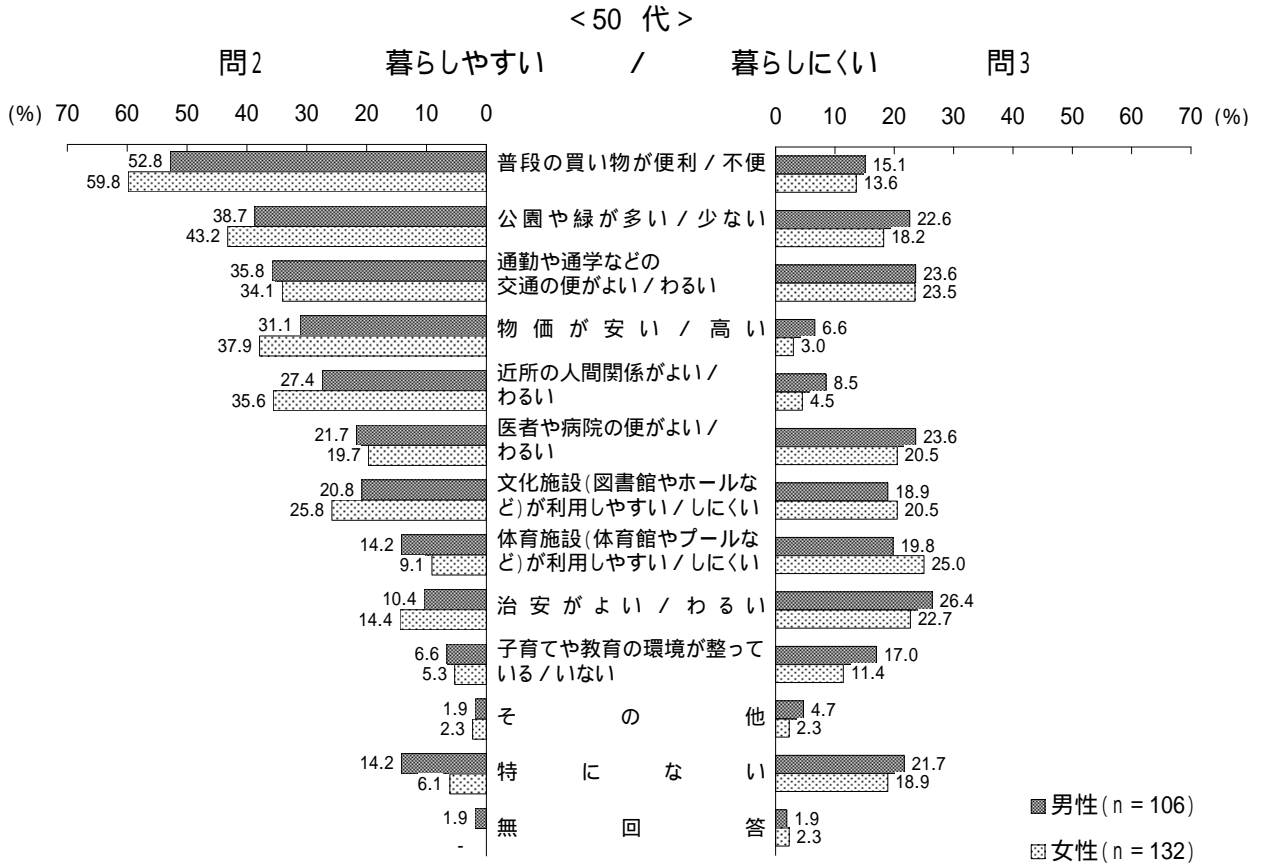
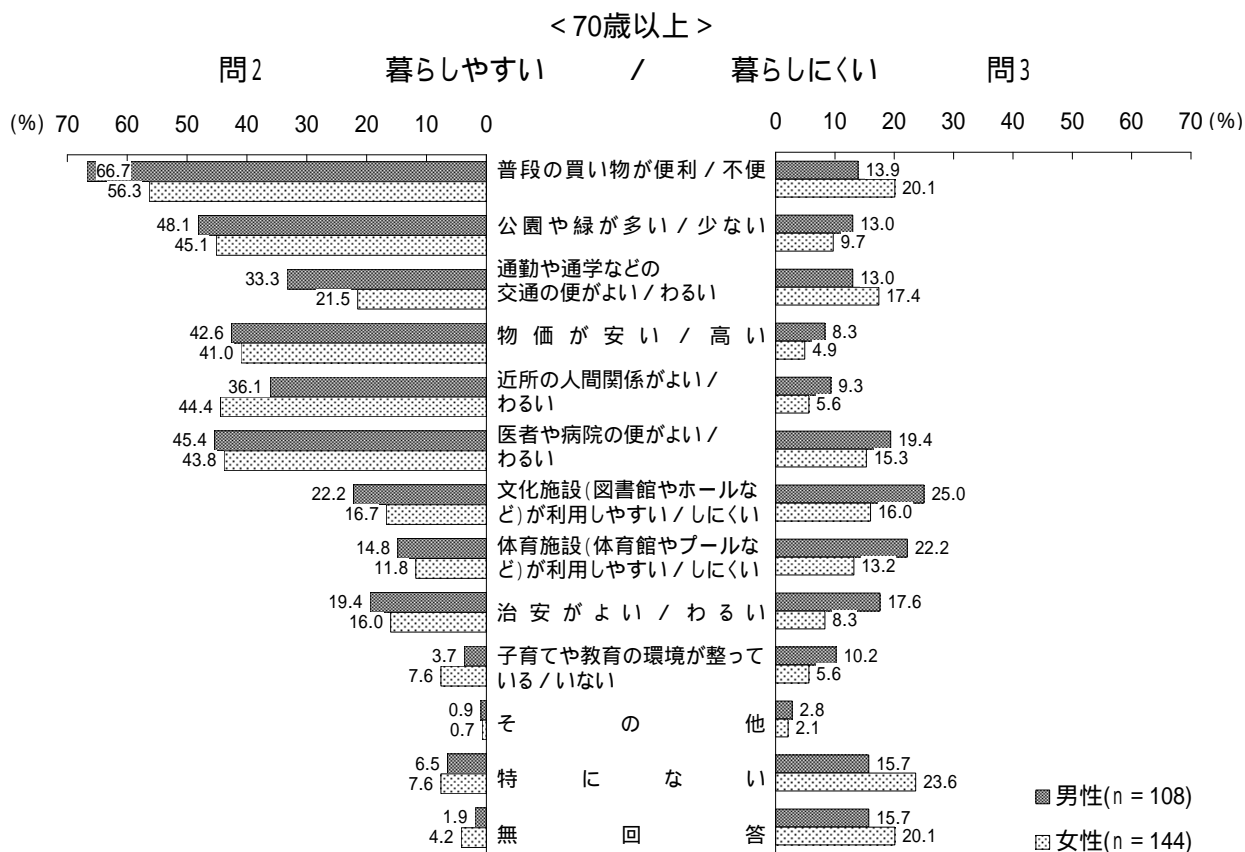




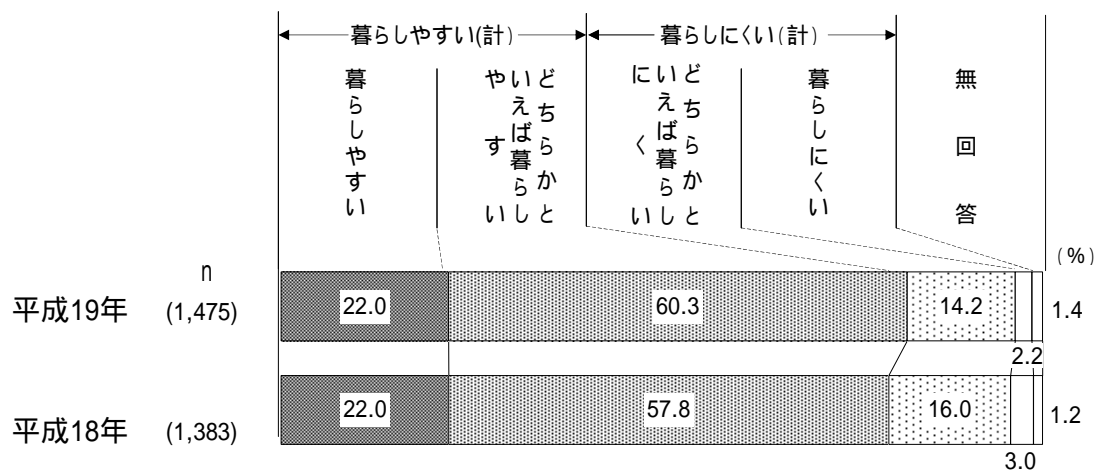
図 1 - 2 - 2 暮らしやすい点・暮らしにくい点 (性・年代別) - つづき -



### (3) 総合的な暮らしやすさ

《暮らしやすい》と感じている人が82.2%で昨年より2.4ポイント上昇

問4 それでは、以上のことを踏まえてお聞きします。あなたは、あなたのお住まいの地域について、暮らしやすいと感じますか。( は1つ)



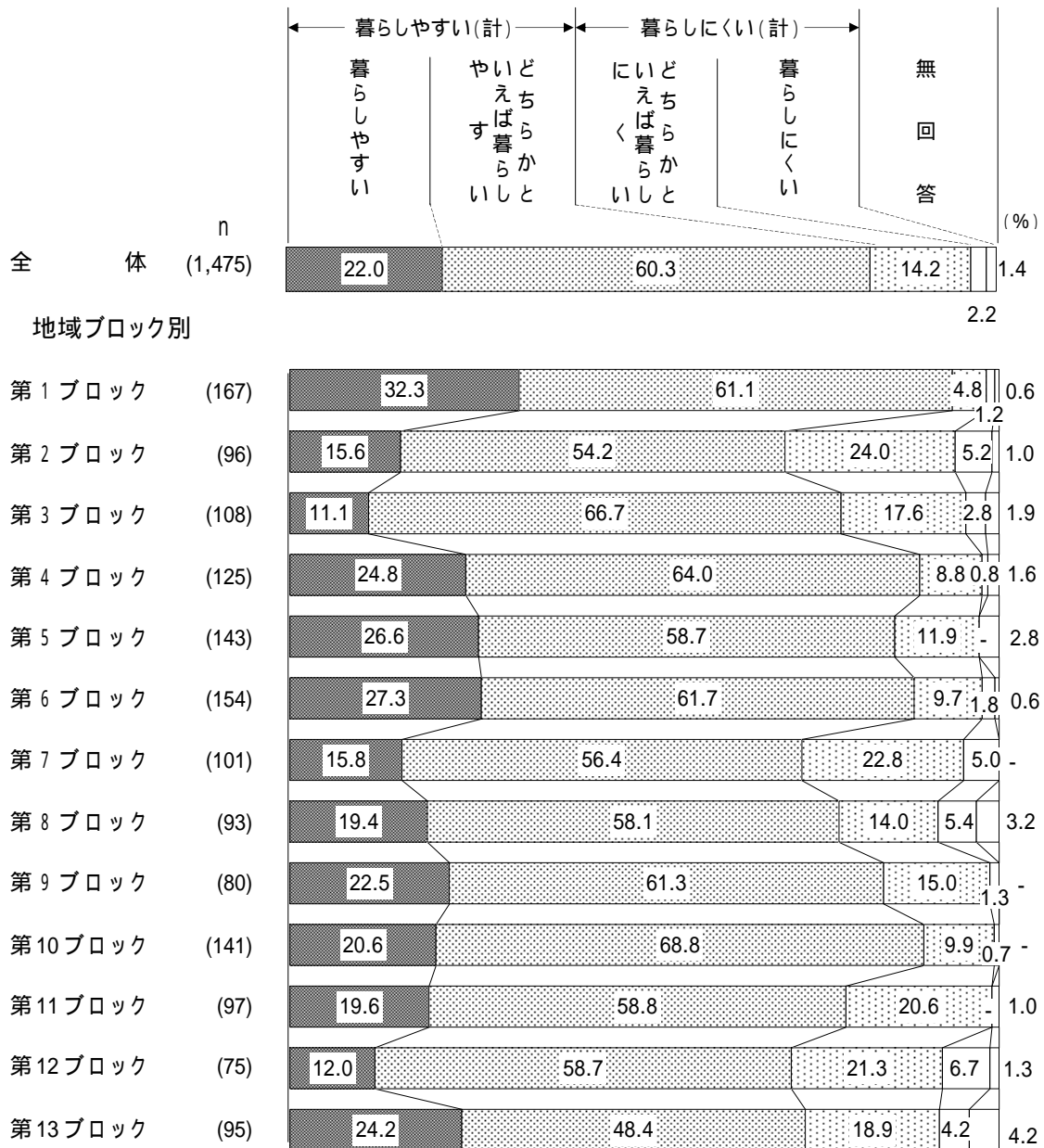
今住んでいるところが「暮らしやすい」と感じている人は22.0%であり、「どちらかといえば暮らしやすい」の60.3%と合わせた《暮らしやすい》は全体の82.2%を占めている。一方、「暮らしにくい」(2.2%)と「どちらかといえば暮らしにくい」(14.2%)を合わせた《暮らしにくい》は16.4%である。

平成18年と比較すると、《暮らしやすい》と感じている人は2.4ポイント上昇している。

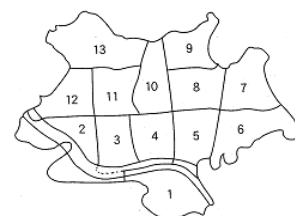
地域ブロック別に見ると、図1-3-1のとおりである。

〈暮らしやすい〉が80%を超えるブロックでは、第1、第4、第5、第6、第9、第10ブロックである。  
 一方〈暮らしにくい〉では、第2ブロックが最も高く、29.2%となっている。

図 1 - 3 - 1 総合的な暮らしやすさ (地域ブロック別)



ブロック区分

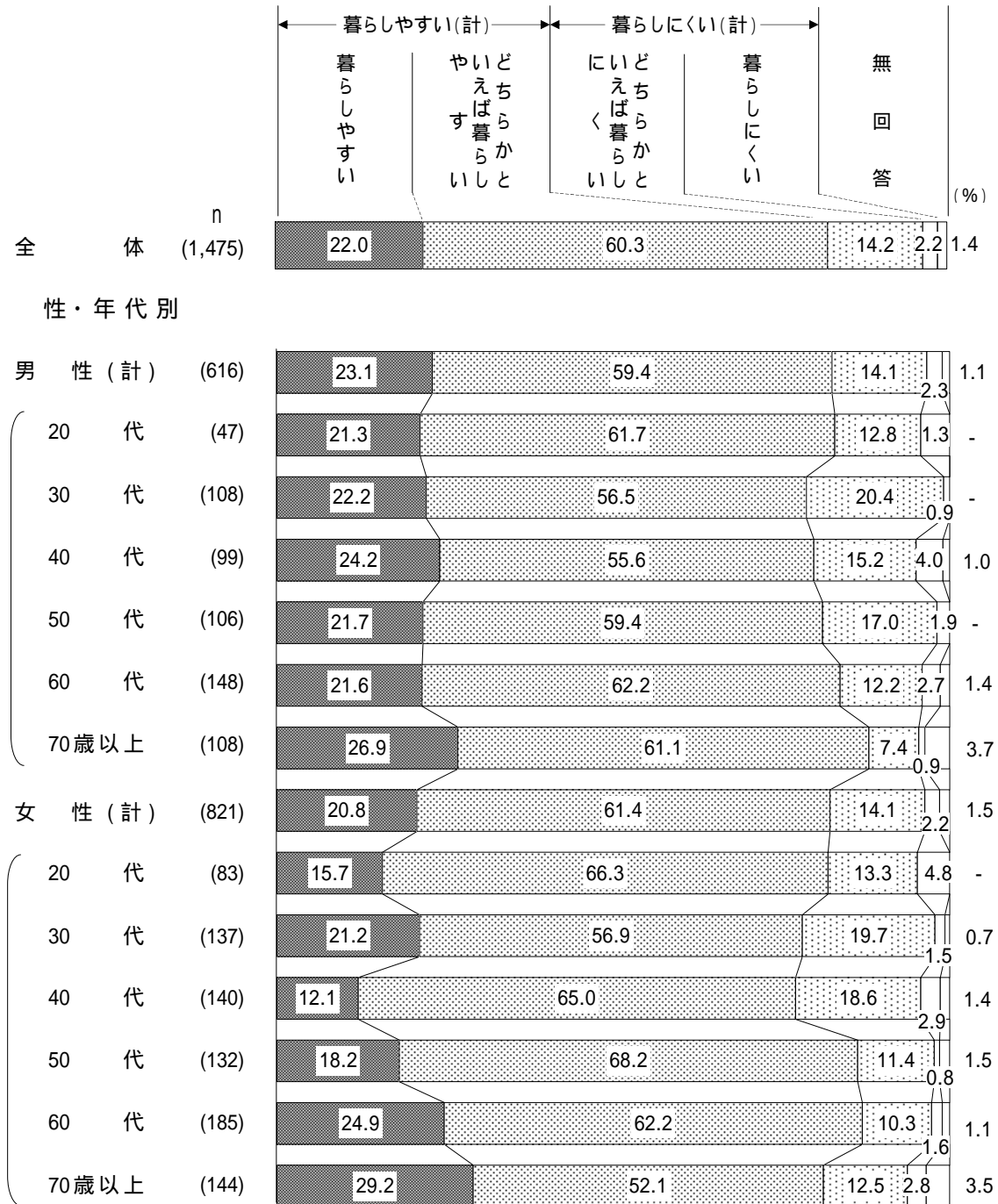


性・年代別にみると、図1 - 3 - 2のとおりである。

《暮らしやすい》は男性では70歳以上(88.0%)、女性では60代(87.0%)が最も高い。

《暮らしにくい》は男性30代、女性30代、40代が20%以上を示し比較的高い。

図 1 - 3 - 2 総合的な暮らしやすさ (性・年代別)



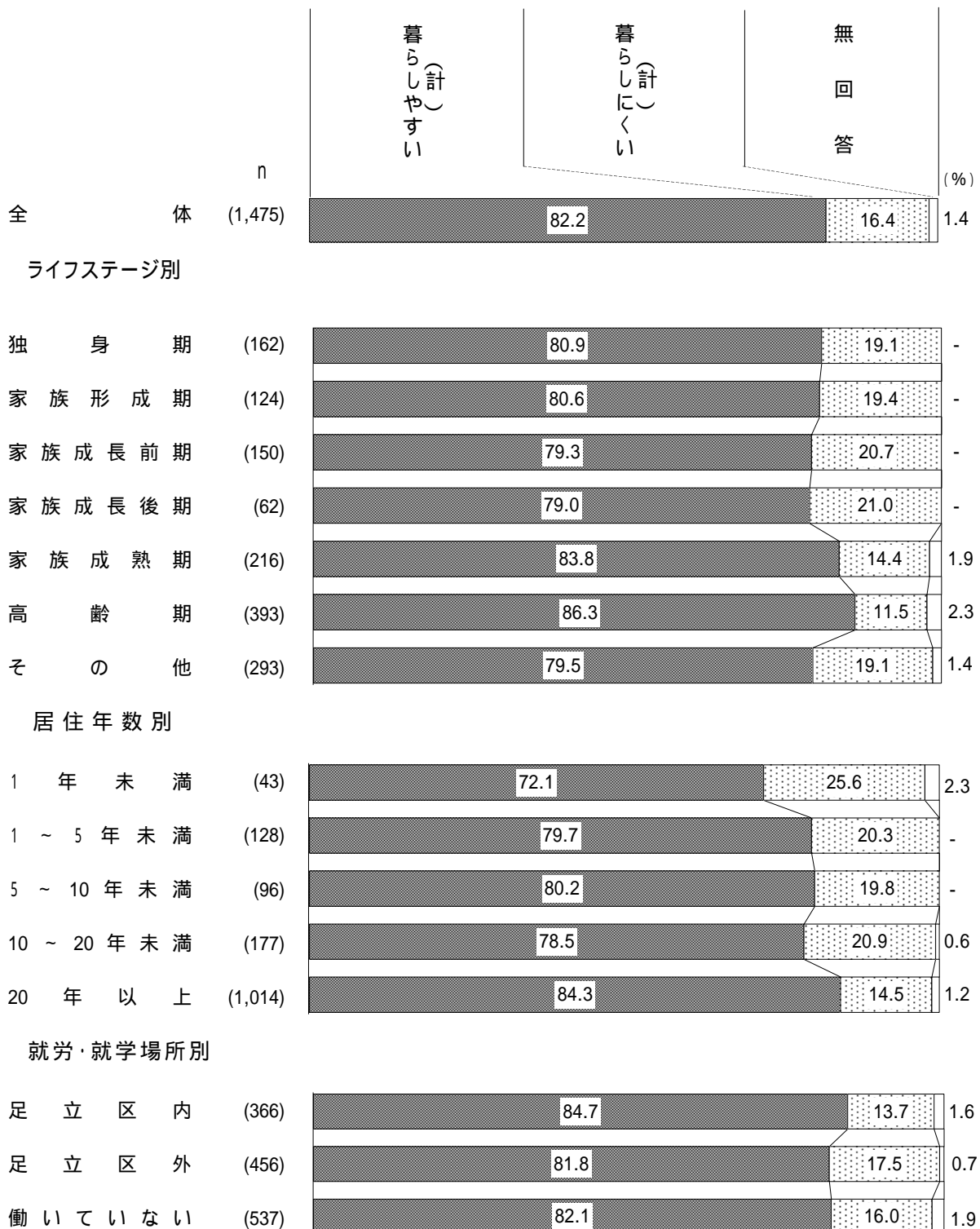
ライフステージ別、居住年数別、就労・就学場所別にみると、図1 - 3 - 3のとおりである。

ライフステージ別では《暮らしやすい》が「高齢期」で86.3%と最も高い。一方で《暮らしにくい》は「独身期」から「家族成長後期」までで20%前後を示している。

居住年数別では、《暮らしやすい》が「20年以上」で84.3%と最も高くなっている。

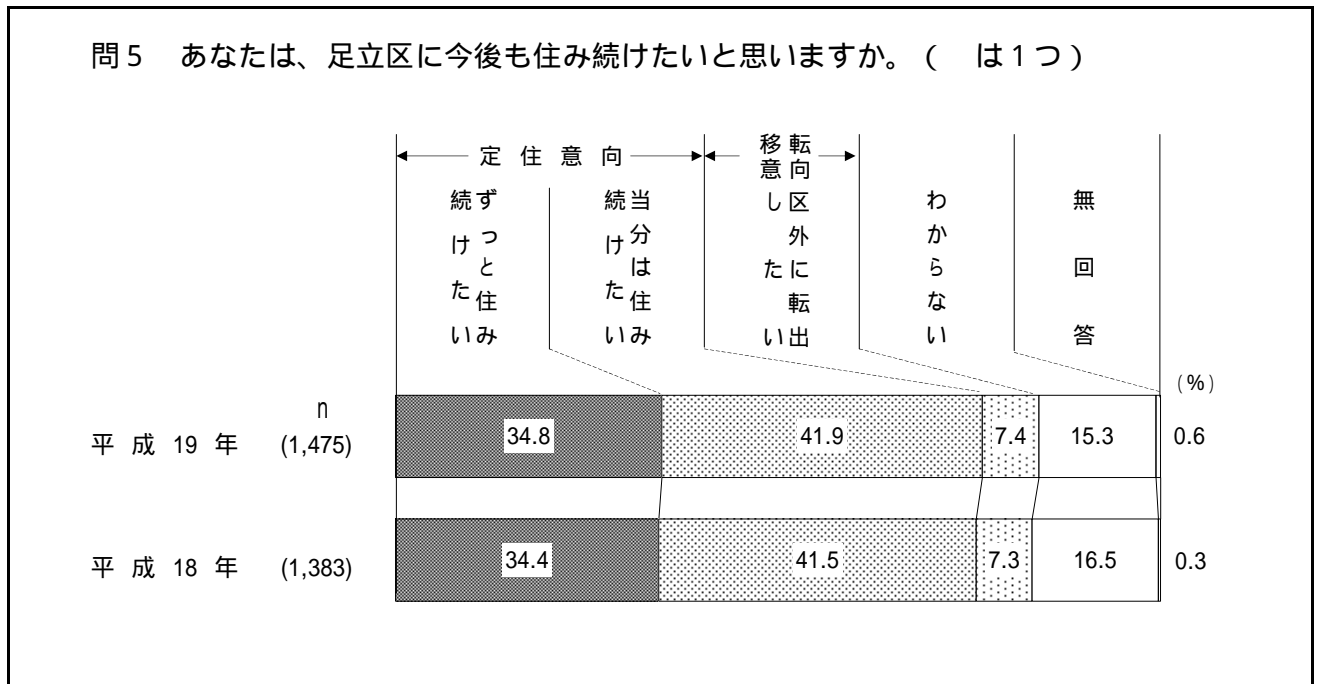
就労・就学場所別では、《暮らしやすい》がいずれも80%を超えており、一定の傾向は見られない。

図 1 - 3 - 3 総合的な暮らしやすさ（ライフステージ別、居住年数別、就労・就学場所別）



#### (4) 定住・移転意向

76.7%が《定住意向》をもっている



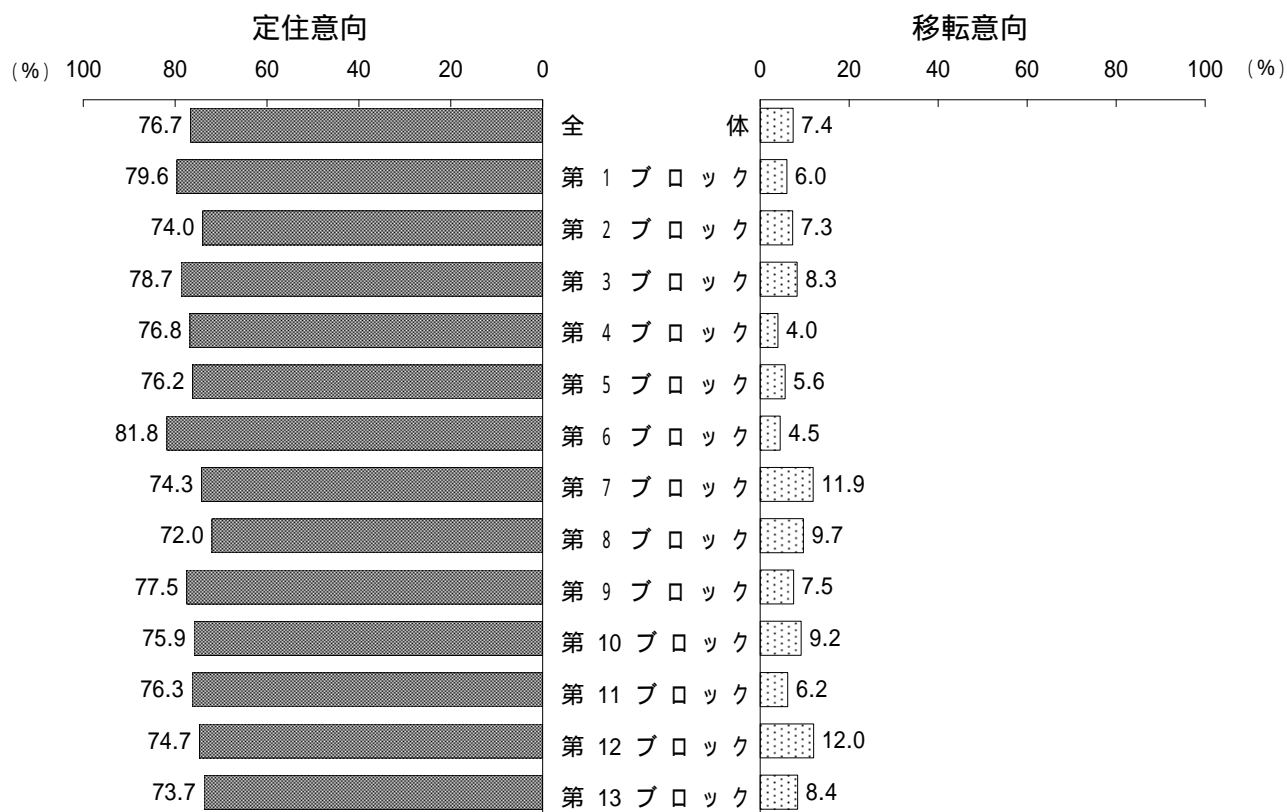
区内に「ずっと住み続けたい」(34.8%)と「当分は住み続けたい」(41.9%)を合わせた《定住意向》が76.7%を占めている。「区外に転出したい」という《移転意向》は7.4%であるが、一方で「わからない」と回答した人も15.3%みられる。

平成18年と比較すると《定住意向》は0.8ポイント上昇であり、ほとんど差がみられない。

地域ブロック別にみると、図1 - 4 - 1のとおりである。

《定住意向》が比較的高いのは、第6ブロック(81.8%)、第1ブロック(79.6%)である。一方、《移転意向》が比較的高いのは、第12ブロック(12.0%)、第7ブロック(11.9%)である。

図 1 - 4 - 1 定住・移転意向 (地域ブロック別)



性・年代別にみると、図1 - 4 - 2のとおりである。

〈定住意向〉は男性70歳以上が最も高く87.0%となっており、年代が上がるほど高くなる傾向がみられる。

就労・就学場所別にみると、図1 - 4 - 3のとおりである。

〈定住意向〉は「足立区外」で就労・就学している者において、比較的低い(73.7%)。

図 1 - 4 - 2 定住意向 (性・年代別)

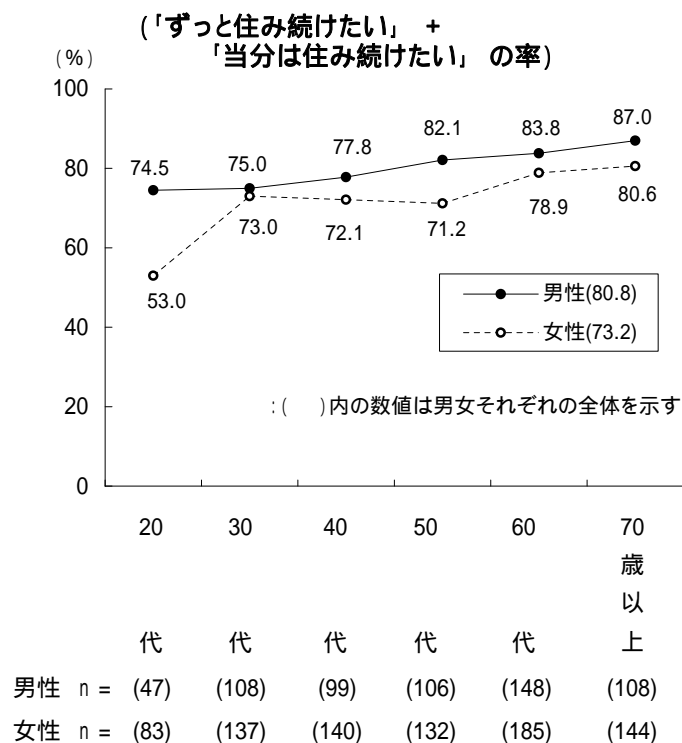
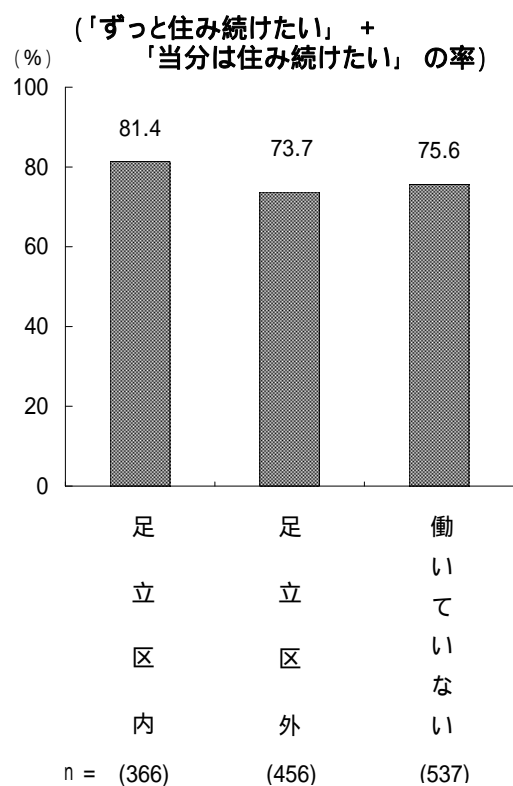


図 1 - 4 - 3 定住意向 (就労・就学場所別)

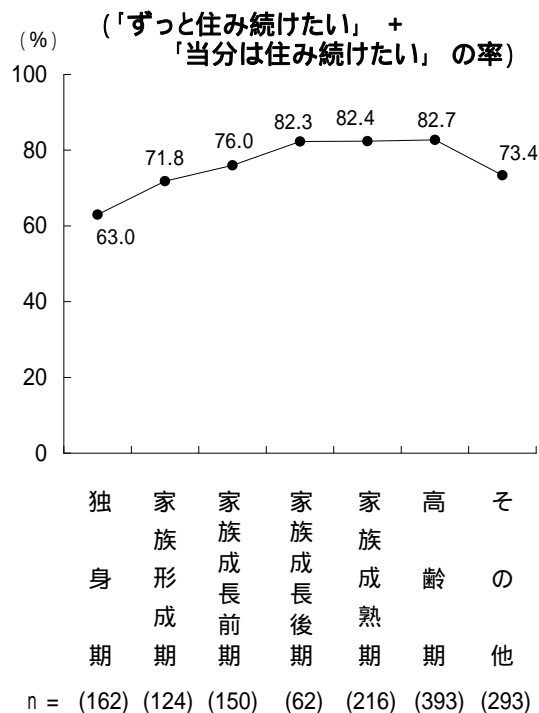




ライフステージ別にみると、図1 - 4 - 4のとおりである。

〈定住意向〉は「高齢期」(82.7%)において最も高く、次いで家族成熟期(82.4%)となっている。一方最も低いのは「独身期」(63.0%)である。

図 1 - 4 - 4 定住意向 (ライフステージ別)



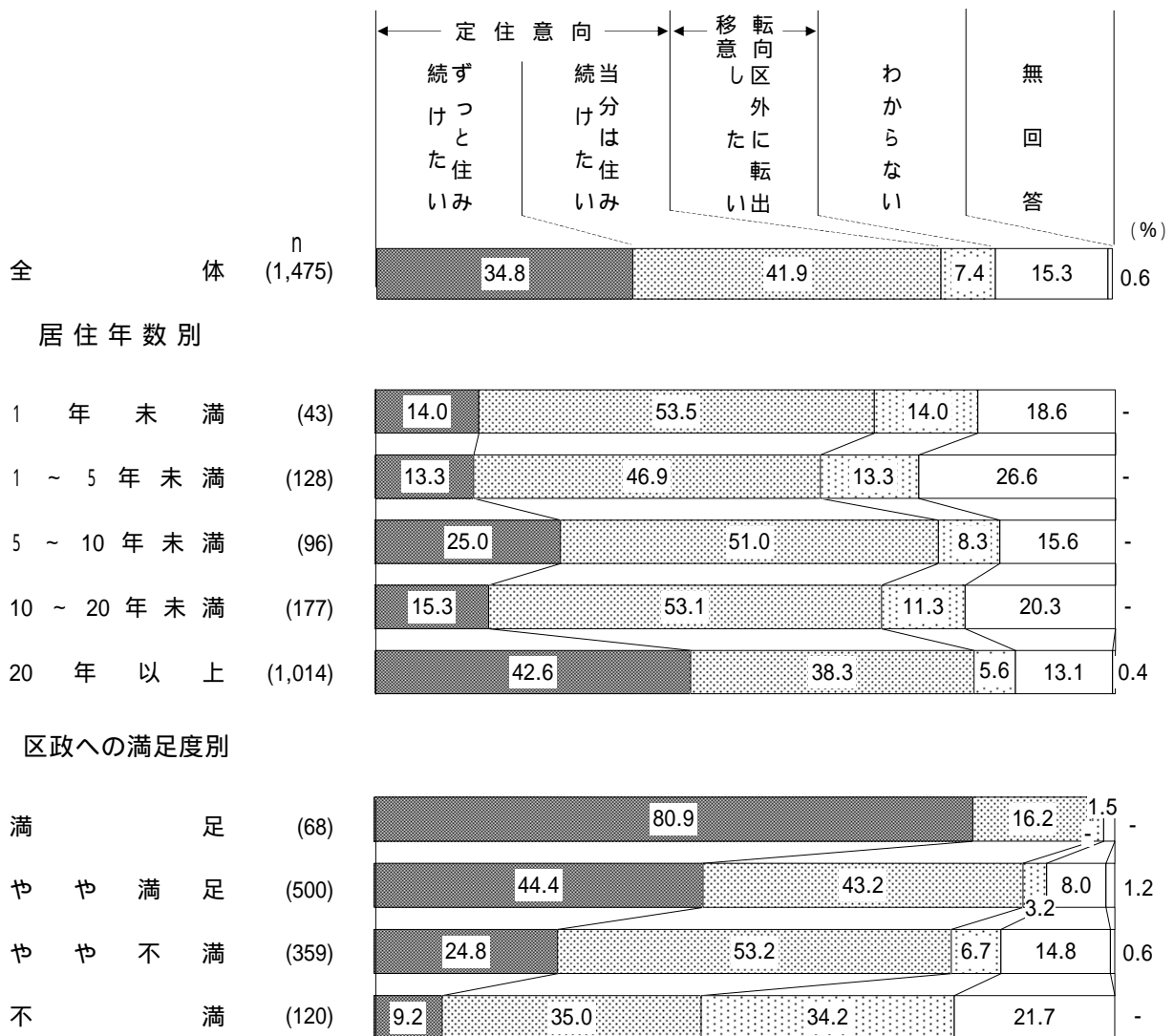
居住年数別にみると、図1 - 4 - 5のとおりである。

《定住意向》のうち「ずっと住み続けたい」が最も高いのは「20年以上」の42.6%である。一方、「1年未満」・「1～5年未満」・「10～20年未満」では10%台と低い。

区政への満足度別にみると、満足度が高くなるにつれ、《定住意向》の「ずっと住み続けたい」の割合も高くなり、《移転意向》の割合は低くなっていく。

定住・移転意向の推移では、平成13年からほぼ横ばいに推移している。

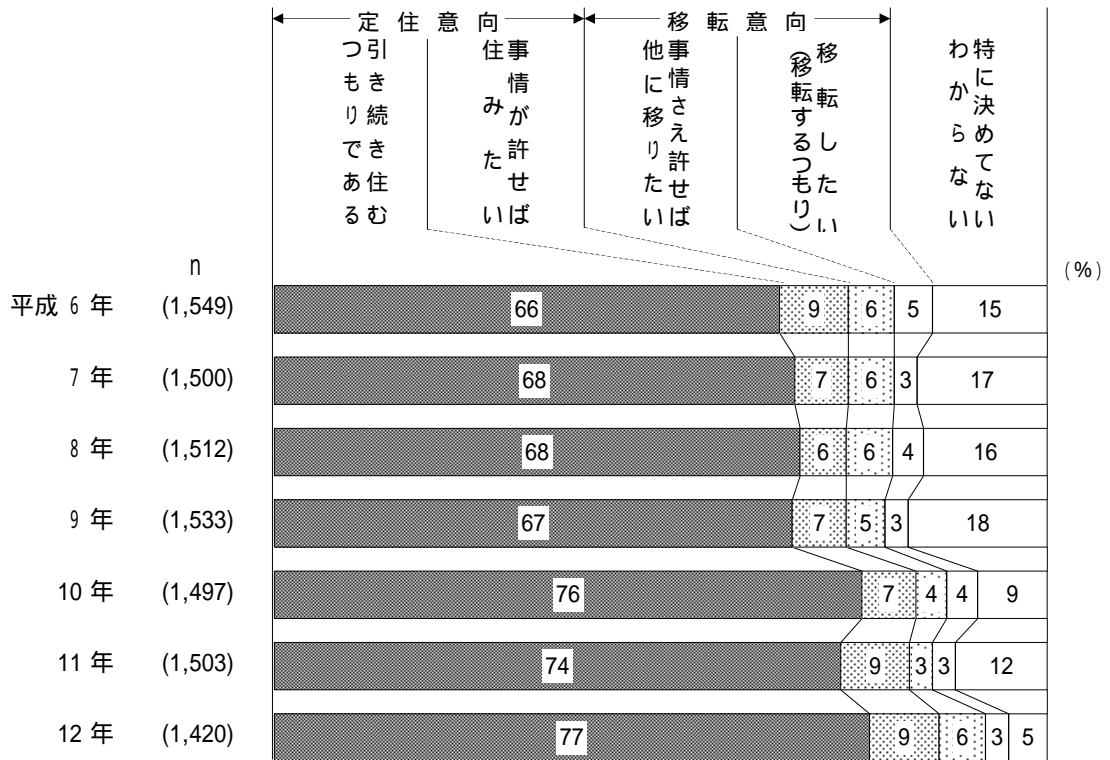
図 1 - 4 - 5 定住意向（居住年数別、区政への満足度別）



参考 定住・移転意向の推移

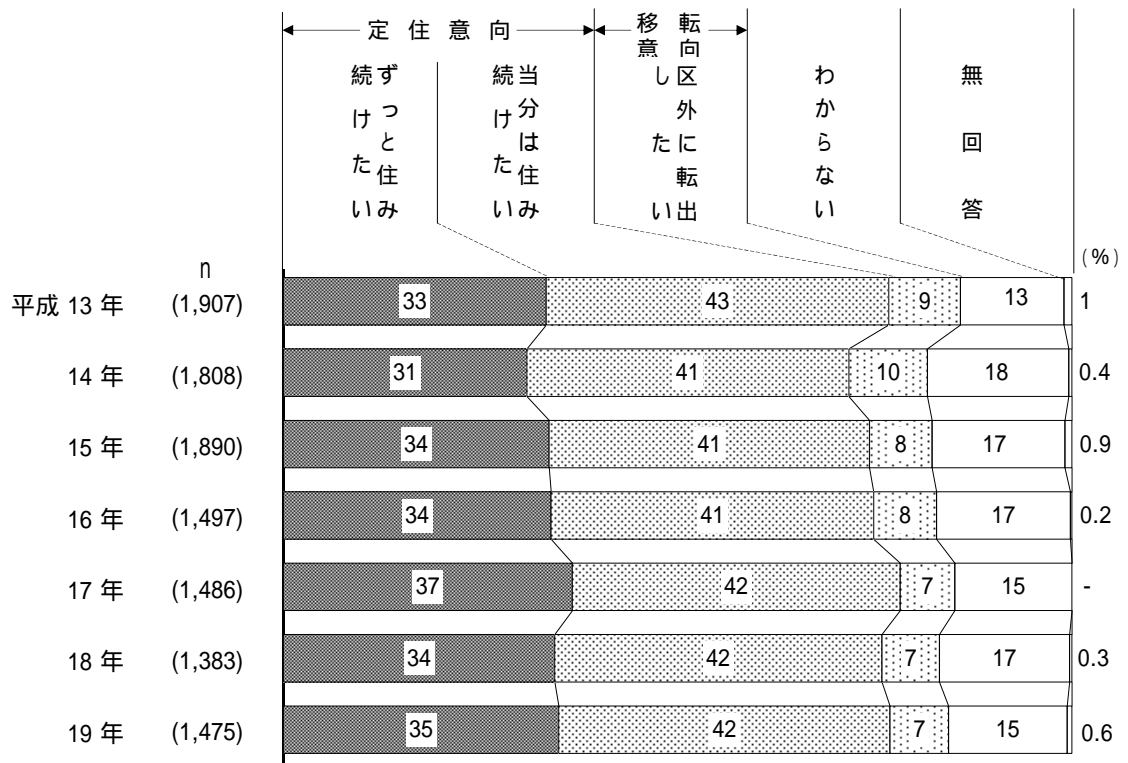
(平成12年まで 訪問面接法)

問 あなたは、足立区に今後も住みたいと思いますか。この中から1つお答えください。( は1つ)



(平成13年以降 郵送配布郵送回収法)

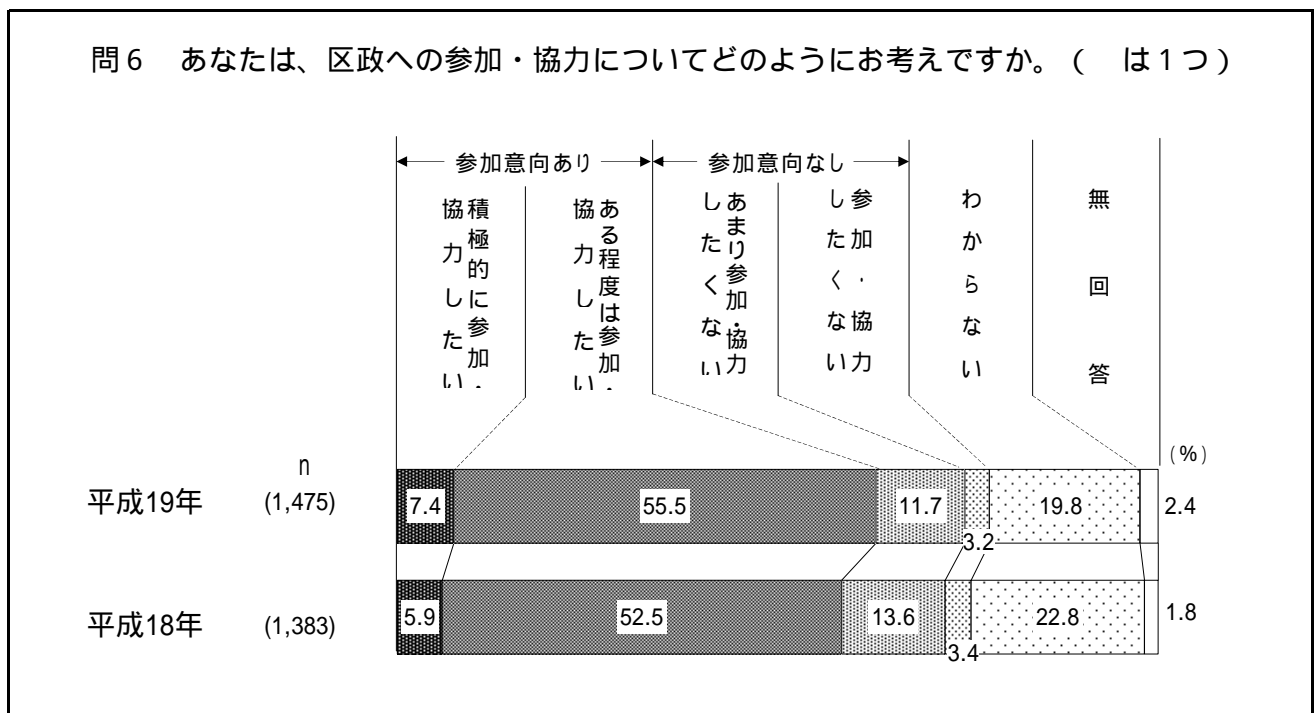
問5 あなたは、足立区に今後も住みたいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。( は1つ)



(注) 平成12年までと平成13年以降では、調査方法(平成12年までは訪問面接法、13年以降は郵送配布郵送回収法)、質問文、選択肢が異なるため、結果を単純に比較することはできない。

## (5) 区政への参加

62.9%の者が区政への参加・協力したいと考えている



区政への参加・協力について聞いてみると、「積極的に参加・協力したい」(7.4%)と「ある程度は参加・協力したい」(55.5%)を合わせた《参加意向あり》が62.9%である。

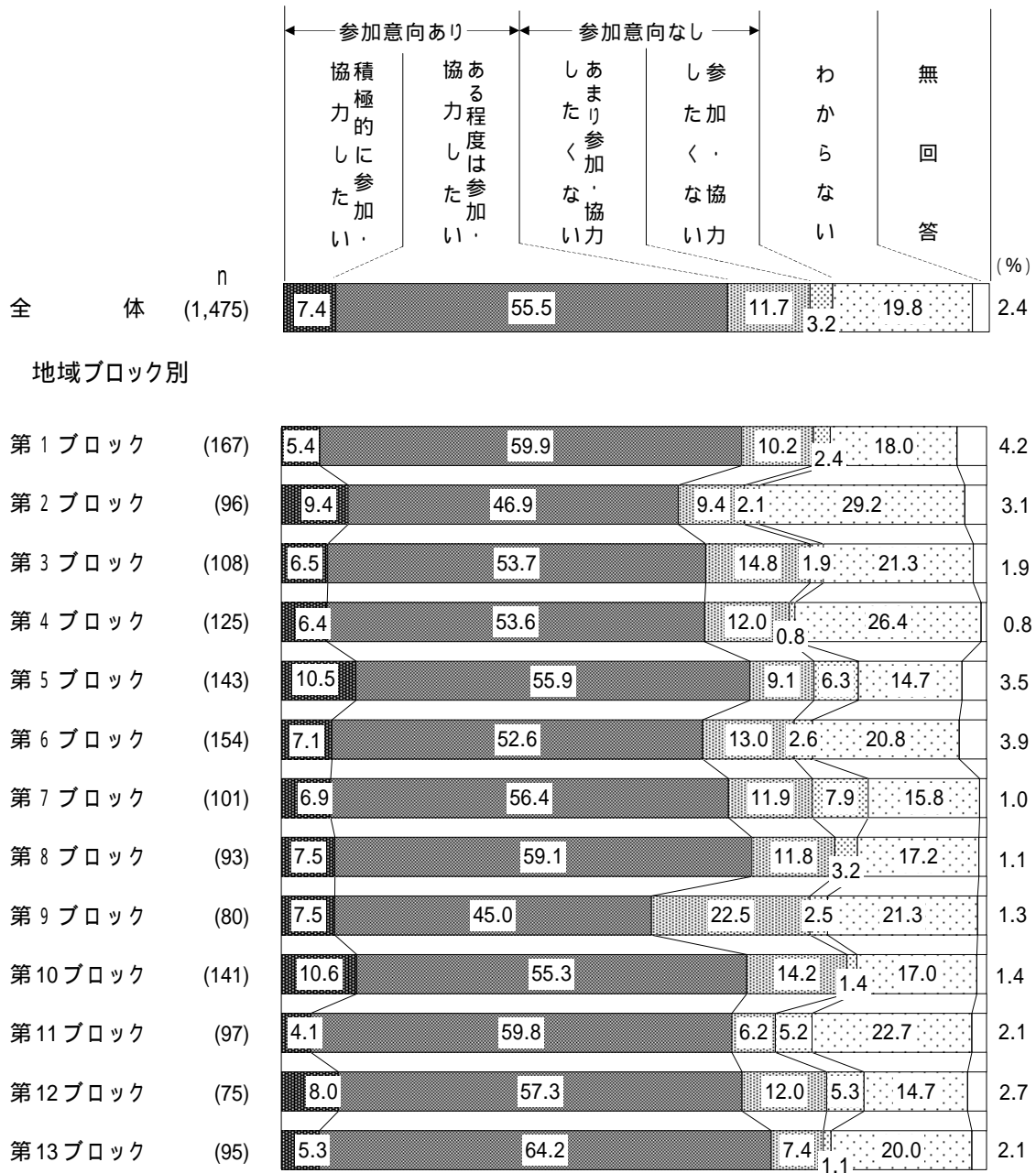
平成18年と比較すると、《参加意向あり》は4.5ポイント上昇している。

なお、「参加・協力したくない」(3.2%)と「あまり参加・協力したくない」(11.7%)を合わせた《参加意向なし》は14.9%であり、平成18年と比較すると2.1ポイント下降している。

地域ブロック別にみると、図1-5-1のとおりである。

〔参加意向あり〕では第13ブロック(69.5%)が最も高く、次いで第8ブロック(66.7%)、第5ブロック(66.4%)の順となっている。〔参加意向なし〕では、第9ブロック(25.0%)が最も高い。

図1-5-1 区政への参加（地域ブロック別）



ブロック区分



性・年代別にみると、図1 - 5 - 2のとおりである。

《参加意向あり》が最も高いのは女性60代で68.6%、次いで女性50代が61.4%となっている。

《参加意向なし》が最も高いのは女性30代で20.4%、次いで女性20代が14.5%となっている。

図 1 - 5 - 2 区政への参加（性・年代別）

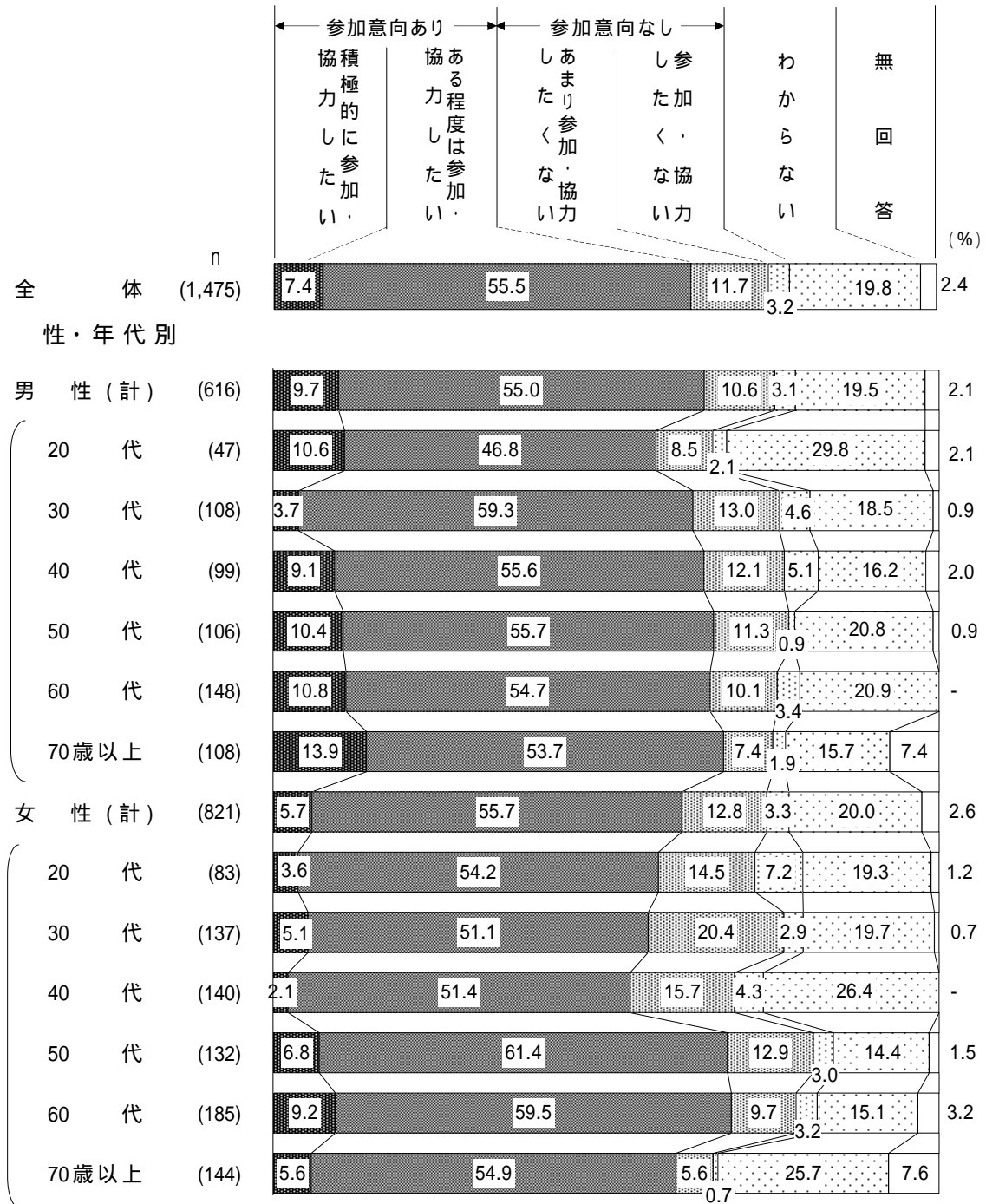
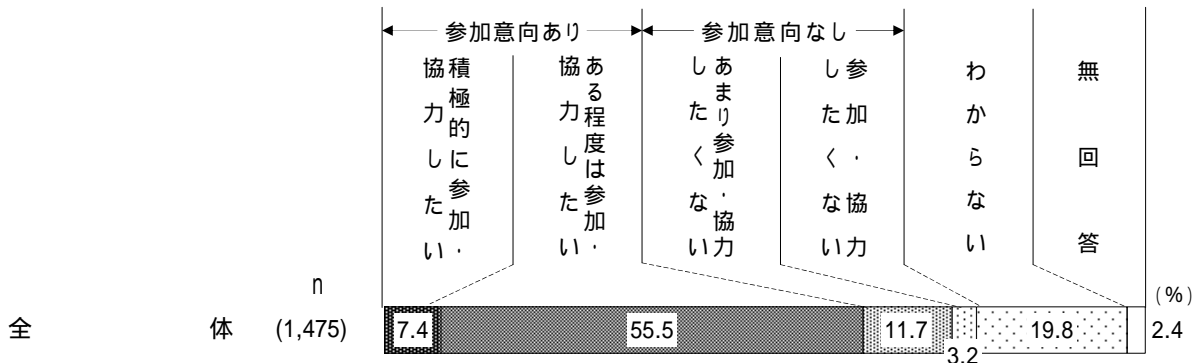
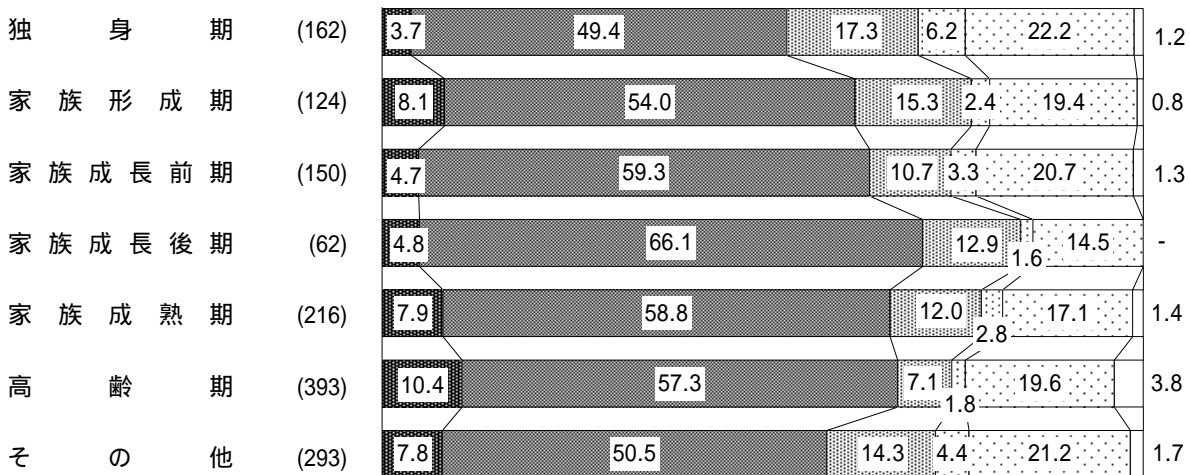


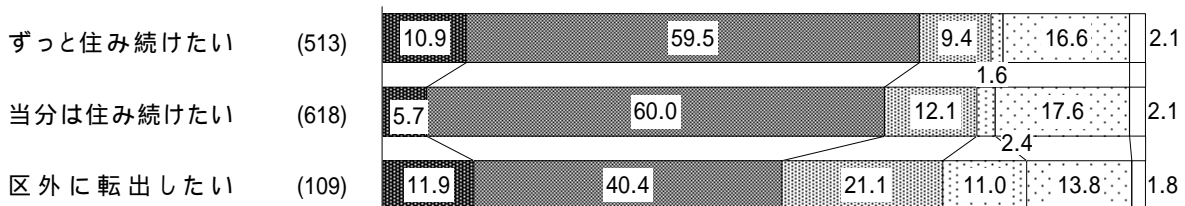
図 1 - 5 - 3 区政への参加（ライフステージ別、定住・移転意向別、区政への満足度別）



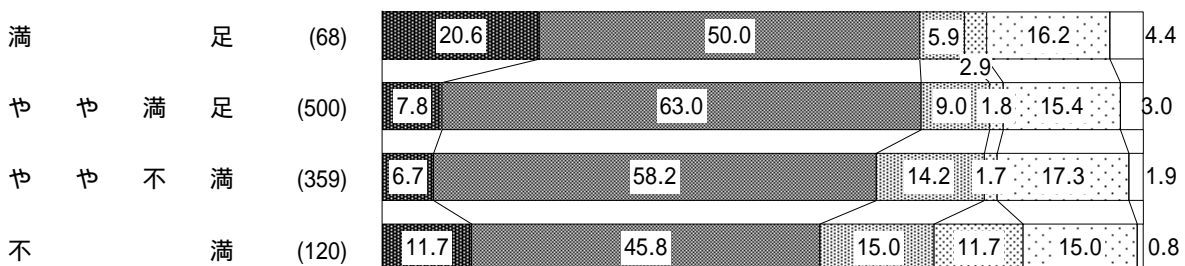
ライフステージ別



定住・移転意向別



区政への満足度別



ライフステージ別にみると、図1 - 5 - 3のとおりである。

〈参加意向あり〉で最も高いのは、家族成長後期(71.0%)である。

定住・移転意向別にみると、「ずっと住み続けたい」では70.4%、「当分は住み続けたい」では65.7%と比較的高く、「区外に転出したい」では52.3%にとどまっている。

区政への満足度別にみると、満足度が高くなるにつれて、〈参加意向あり〉の割合も高くなる傾向があり、「満足」している人の20.6%は「積極的に参加・協力したい」と回答している。